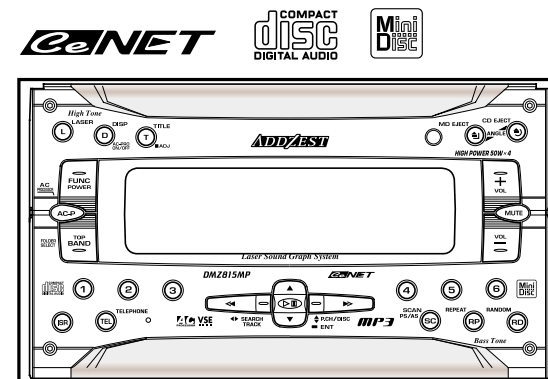


ADDZEST

CD/MP3/MD/AV/TEL-LINKコントロール、
DSP/EQ内蔵 AM/FM チューナー付
CD/MD デッキアンプ

DMZ815MP

取扱説明書



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

保証書(別添)はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

この取扱説明書には、本機で操作するCD/MDチェンジャー、TVチューナー、ハンズフリーキット、TELリンクユニットの操作説明も含まれています。CD/MDチェンジャー、TVチューナーの取扱説明書には、操作説明は記載されておりません。

目次

はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたいご注意を説明しています。

主な特長	6
ご使用の前に	7
安全に正しくお使いいただくために	7
安全上のご注意	8
取扱上のご注意	10
本体のお手入れについて	10
ディスプレイについて	10
液晶画面について	10
エラー表示について	10
スロープコンソールについて	10
MDについて	11
CDまたはMDの演奏について	11
CDについて	11

本機の操作

本機にスピーカーを接続するだけでお楽しみいただける機能を説明しています。

各部の名称とはたらき

本体部	12
システムチェック時のディスプレイ表示	14
電源ON/OFF時のディスプレイ表示	15
各種設定/調整時のディスプレイ表示	16
モード別ディスプレイ表示	20
別販リモコン(RCB-130)の使いかた	24

基本の操作

電源を入れる	26
モードを選ぶ	26
スロープコンソールの角度を調整する	27
音量を調節する	27
音を消す(ミュート)	27
時刻を合わせる	28
バランス/フェダーを調整する	29
リスニングポジションを設定する	30
レーザーサウンドグラフの表示を切り換える	31
スクリーンセーバーをオン/オフする	31
スクリーンセーバーを切り換える	32
タイトル表示を切り換える	33
タイトルをスクロールさせる	33

ラジオ放送を聴く

ラジオモードを選ぶ	34
受信バンドを切り換える	34
自動選局する(シーク選局)	34
手動選局する(マニュアル選局)	35
プリセット選局する	35
プリセットメモリーを呼び出す	35
プリセットメモリーする	35
自動メモリーする(オートストア機能)	36
放送を確かめる(プリセットスキャン)	36
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	37

CD/MP3/MDを聴く

MP3について	38
演奏するディスクの種類を設定する	39
ディスクを入れる	39
ディスクを取り出す	41
すでに入っているディスクを聴く	41
演奏を止める(一時停止)	41
曲を選ぶ	42
早送り/早戻しする	42
最初の曲から聴く(トップ機能)	42
フォルダーを選択して曲を演奏する(ダイレクト選択モード)	43
フォルダーを切り換える(フォルダー選択モード)	43
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	44
聴きたいフォルダーを探す(フォルダースキャン演奏)	44
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	45
フォルダー内の曲を繰り返し聴く(フォルダーリピート演奏)	45
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	45
ランダムに演奏を聴く(フォルダースキャン演奏)	45

ACプロセッサーを操作する

ACプロセッサーにできること	46
スタンダードモードとプロモードを切り換える	47
DSFの操作(スタンダードモード)	48
DSFメニューを選ぶ	48
DSF効果をON/OFFする	48
エフェクト(EFFECT)を調整する	49
G.EQの操作(スタンダードモード)	50
G.EQメニューを選ぶ	50
G.EQ効果をON/OFFする	51
G.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	51
VSEの操作(プロモード)	52
VSEメニューを選ぶ	52
VSE効果をON/OFFする	53
VSEを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	53
P.EQの操作(プロモード)	54
P.EQメニューを選ぶ	54
P.EQ効果をON/OFFする	55
P.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	55
VSE/EQメニューにタイトルをつける	57

タイトルをつける

タイトルを入力する	58
イーザーインプットをする	60
タイトルを削除する	61

設定を変更する(アジャストモード)

設定項目を選ぶ	62
ノンフェダー出力を設定する(NON-FADER)	63
ノンフェダー出力の音量を調整する(NON-FAD VOL)	63
レーザーサウンドグラフ表示の感度を設定する(LASER SENS)	64
レーザーサウンドグラフ表示の速さを設定する(LASER SPEED)	64
メッセージを表示させる(MESSAGE)	65
ボタン操作時のピープ音を設定する(BEEP)	65
タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCROLL)	66
TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)	66
チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)	67
TVエリアを設定する(TV AREA)	68
電話の割り込みを設定する(TEL SPEAKER)	69

外部機器の操作

本機とスピーカーの他に、別販品(CD/MDチェンジャー、TVチューナー、ハンズフリーキット、TELリンクユニット)を接続したときに、楽しみいただける機能を説明しています。

CD/MDチェンジャーの操作

チェンジャーモードを選ぶ	70
聴きたいCD(またはMD)を選ぶ	71
曲を選ぶ	71
早送り / 早戻しをする	71
演奏を止める(一時停止)	71
最初の曲から聴く(トップ機能)	71
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	72
聴きたいCD(またはMD)を探す(ディスクスキャン演奏)	72
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	73
1枚のCD(またはMD)を繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)	73
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	73
全CD(またはMD)の演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)	73

テレビを見る

TVモードを選ぶ	74
受信バンドを切り換える	74
自動選局する(シーク選局)	75
手動選局する(マニュアル選局)	75
プリセット選局する	75
プリセットメモリーを呼び出す	75
プリセットメモリーする	75
自動メモリーする(オートストア機能)	76
放送を確かめる(プリセットスキャン)	76
ステレオ/モノラル音声を切り換える	77
主音声/副音声を切り換える	77
ビデオを見る	77

ハンズフリー通話をする(簡易TEL機能)

ご使用前のご確認事項	78
携帯電話の接続のしかた	78
着信電話を受ける	79
通話を終了する	79
発信する	79

携帯電話機を操作する

電話モード時のディスプレイ表示	80
電話をかける(スーパースピードダイヤル)	81
通話音量を調整する	81

携帯用オーディオを聴く(アクセサリモード)

アクセサリモードにする	82
AUX入力ユニット接続のしかた	82

その他

システムアップについて	83
CeNETケーブルについて	84
故障と思われる前に	84
エラー表示について	86
仕様	87
アフターサービスについて	裏表紙

主な特長

本機は、AM/FMラジオとCD/MDデッキを内蔵し、別販のCDチェンジャー、MDチェンジャーまたはTVチューナーを接続してコントロールできるCeNET結線対応の2DINセンターユニットです。また、別販のハンズフリーキット(RCB-154-500)を接続しますと、簡易的な携帯電話のハンズフリー通話が可能です。(接続可能な携帯電話につきましては、カタログをご覧ください。)

MP3再生機能

- MP3フォーマットで記録したCD-ROM、CD-R/RWが再生できます。
- ISO9660レベル1およびレベル2(拡張フォーマット含まず)に対応。

レーザーサウンドグラフ部

- パネル部上下のイルミネーションによりサウンドレベルを表示する機能

簡易TEL操作機能(別販品接続時)

- 簡易的な携帯電話のハンズフリー通話を実現します。

フロントパネル

- 表示部を見やすい角度に調整できるスロープ角度調整機能

表示部

- 車内を多彩なカラーで演出する4色カラー蛍光表示管を採用

ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、どのモードからでもワンタッチで選局するISR機能
- FM、AM各12局のプリセットが簡単なオートストア機能
- メモリー局を順に受信するプリセットスキャン機能
- チューナーエリアを選択するだけで、受信可能な周波数に対して自動的に放送局名を表示することができるエリアセレクト機能

CD/MP3/MDプレーヤー部

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能。
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能

ACプロセッサー部

- 5種類のベーシック音場メニューを選べるデジタル・サウンド・フィールド(DSF)、および6種類のベーシックパターンと6種類のユーザーパターン、各種の設定で自由に音質をコントロールできるグラフィックイコライザー、バーチャル・スペース・エンハンサー(VSE)、パラメトリックイコライザー
- きめ細かく調整できる5つのリスニングポジション機能

タイトル入力/表示機能

- ラジオやTVの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル機能
- MDのディスク名または曲名を表示させるタイトル機能
- MP3のフォルダー名/ファイル名表示機能

CeNET (Clarion Entertainment Network:シーイーネット)結線対応

- 外部機器との結線に新開発 CeNET方式を採用。これにより、複数の外部機器接続時の中継BOXが不要になりました。
- CDチェンジャーおよびMDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能

CD/MDチェンジャーコントロール部(別販品接続時)

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 演奏中のディスクを繰り返し演奏するディスクリピート機能
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 全ディスクの1曲目の最初の10秒間ずつを演奏するディスクスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
- 収納しているディスクの曲を順不同に演奏するディスクランダム機能

TVチューナーコントロール部(別販品接続時)

- プリセットが簡単なオートストア機能で、TV1:6局、TV2:6局、合計12局をメモリー(エリアセレクト有)
- メモリーした放送局を7秒間ずつ受信するプリセットスキャン機能

TEL-LINKユニットコントロール(別販品接続時)

- 携帯電話のハンズフリー通話を実現します。
- 携帯電話機のダイヤルメモリーを呼出して電話をかけるスーパースピードダイヤル機能

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中などには具体的な注意内容(左図の場合は指はさまれ注意)が描かれています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中などには具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとはいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

安全上のご注意

⚠ 警告

走行中は運転者による操作をしない…

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



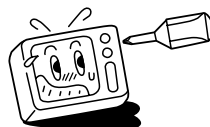
走行中はピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない…

運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。



本機を分解したり、改造しない…

事故や火災、感電の原因となります。



ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談してください。



万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起きたときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



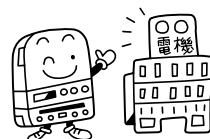
ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



本機の取り付けおよび取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口へ依頼する…

専門技術と経験が必要です。



⚠ 注意

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となる場合があります。



ディスク挿入口に手や指を入れない…

ケガの原因となることがあります。



スロープコンソールの開閉時に、機構部に手や指を近づけない…

ケガの原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない…

火災や感電の原因となることがあります。



本機を車載用以外には使用しない…

感電やケガの原因となることがあります。



アンテナは、折れ曲がった状態で使用しない…

歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。



樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない…

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。



電源を切るときは、音量を最小にする…

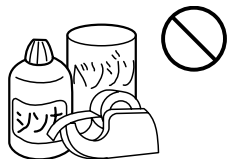
電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



取扱上のご注意

本体のお手入れについて

本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



⚠ 注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。また、自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

表示画面について

非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。表示画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、発光体特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(86ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

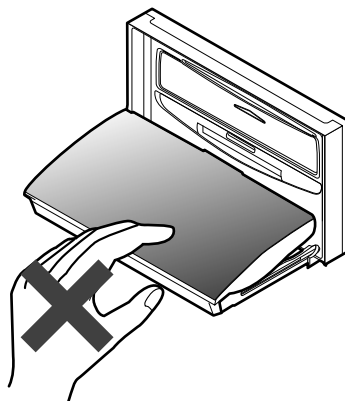
スロープコンソールについて

電源をOFFにするときは、安全のためスロープコンソールを閉じた状態にしてください。CDまたはMDをイジェクトしたときは、必ず取り出してからスロープコンソールを閉じてください。(CDまたはMDを取り出してから一定の時間が過ぎると、スロープコンソールは、ピープ音を鳴らしてから自動的に閉じるかまたは角度調整した状態になります。)

⚠ 注意

スロープコンソールの開閉時には、指などを挟まないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

スロープコンソールの開閉時に無理な操作や異常な使用をしないでください。



操作ボタンや表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。スロープコンソールをフルオープンした状態で一定の時間が過ぎると、自動的に閉じるか又は角度調整した状態に戻るよう設定されています。このとき、指や異物などを挟まないように注意してください。スロープコンソールが閉じるときに、指や異物などの障害物がある場合は、安全機構がはたらいて、自動的に止まります。スロープコンソールを再び動作させるには、障害物を取り除いた後、CD/MDイジェクトボタンを押してください。

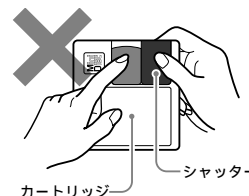
MDについて

 マークのついたMDをご使用ください。

取扱い上のご注意

直射日光が当たる場所や、温度・湿度の高い場所には保管しないでください。

MDのシャッターを手で開けないでください。



ラベルのはがれかけているMDは使用しないでください。

そのままMDプレイヤーに入れると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

お手入れ

カートリッジの表面についたホコリやゴミは、乾いたやわらかい布でふきとってください。


CDまたはMDの演奏について

車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。CDまたはMDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。

CDまたはMDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。8cmシングルCDまたはMDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

CDについて

 マークのついたCDをご使用ください。

また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

CD-R/RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります

取扱い上のご注意

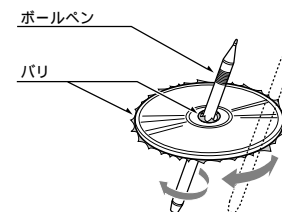
CD-R、CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。

記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。

レーベル面(印刷面)や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。

セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

直射日光の当たる場所
湿気やホコリの多い場所
暖房の熱が直接当たる場所

お手入れ

汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本体部

LASER レーザーボタン

- レーザーパターンを切換ええます。
- 押し続けると(約1秒間)レーザーサウンドグラフのバックライトのオン/オフを切換ええます。

DISP ディスプレイボタン

- スクリーンセーバーのオン/オフを切換ええます。
- MP3再生時/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時に押し続けると(約1秒間)タイトル表示を入れ替えます。

TITLE タイトルボタン

- ラジオ/TV局の名称や、CDモードやCDチェンジャーモード時のディスクタイトルの入力/削除、MDモードやMDチェンジャーモード時のタイトルスクロールなどに使います。
- 押し続けると(約1秒間)各種設定・調整項目の選択に使います。

FUNC POWER ファンクションボタン

- 電源が入り、押し続けると(約1秒間)電源が切れます。
- 各モードを切換ええます。
- 電話モード時は、通話を開始します。

AC-P AC-Pボタン

- DSP(DSF,VSE)/EQモードを切換ええます。

TOP BAND バンドボタン

- ラジオ/TVモード時は、バンドを切換ええます。押し続けると(約1秒間)自動 手動選局を切換ええます。
- CD/MD演奏時は、最初の曲に戻ります。
- MP3演奏時は、フォルダー選択モードになります。
- 電話モード時は、通話を終了して電話モードを解除します。
- CD/MDチェンジャー時は、次のディスクを選択します。

① ~ ③ ダイレクトボタン(1~3)

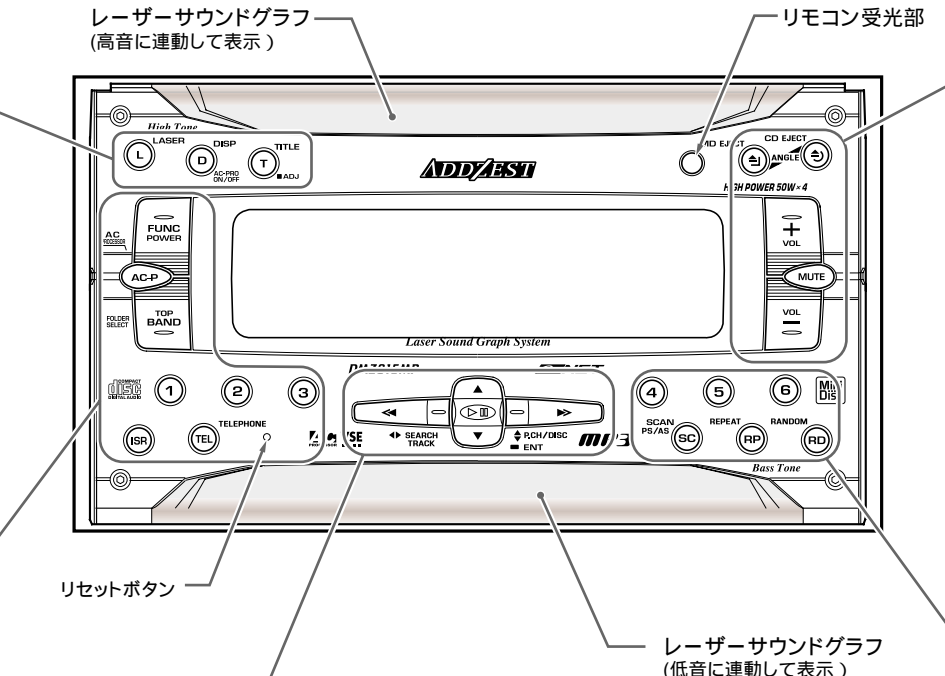
- ラジオ/TVモード時には、放送局をメモリーして直接呼出します。
- CD/MDチェンジャーモード時にはディスクを選択します。

ISR ISRボタン

- 現在のモードにかかわらずよくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR機能)初期設定では、交通情報1620kHzです。

TELEPHONE 電話ボタン

- 電話モードに切換ええます。



アップ/ダウンボタン

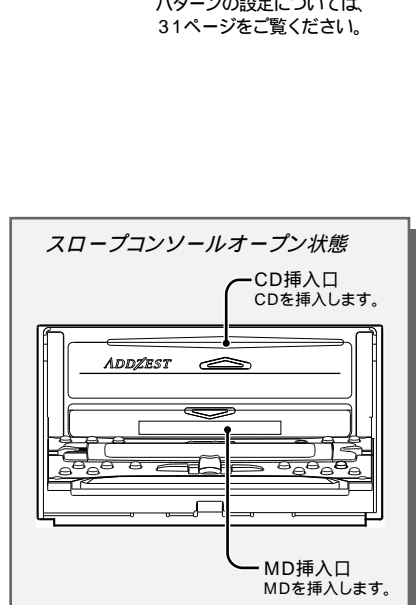
- ラジオ/TVモード時はプリセット選局のアップ/ダウンに使います。
- MP3モード時は、フォルダー選択のアップ/ダウンに使います。
- CD/MDチェンジャーモード時には、ディスクのアップ/ダウンに使います。
- アジャストモード時には各種の設定に使います。

サーチボタン

- ラジオ/TVモード時は選局に使います。
- CD/MP3/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時には、選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。

プレイ/ポーズボタン

- CD/MP3/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時には、演奏/一時停止をします。
- アジャストモード時には、各種設定の決定に使います。



CD EJECT CDイジェクトボタン

- スローコンソールがフルオープンした後、CDをイジェクトします。
- 押し続けてスローコンソールの角度を調整します。

MD EJECT MDイジェクトボタン

- スローコンソールがフルオープンした後、MDをイジェクトします。
- 押し続けてスローコンソールの角度を調整します。

ボリュームボタン

- +または-を押して、音量を調節します。

MUTE ミュートボタン

- ミュート(消音)機能をオン/オフします。

④ ~ ⑥ ダイレクトボタン(4~6)

- ラジオ/TVモード時には、放送局をメモリーして直接呼出します。
- CD/MDチェンジャーモード時にはディスクを選択します。

SCAN PS/AS スキャンボタン

- CD/MP3/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。
- ラジオ/TVモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。

REPEAT リピートボタン

- CD/MP3/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時に繰り返し演奏します。
- TVモード時に、ステレオ/モノラルを切換ええます。押し続けると(約1秒間)MAIN/SUBを切換ええます。

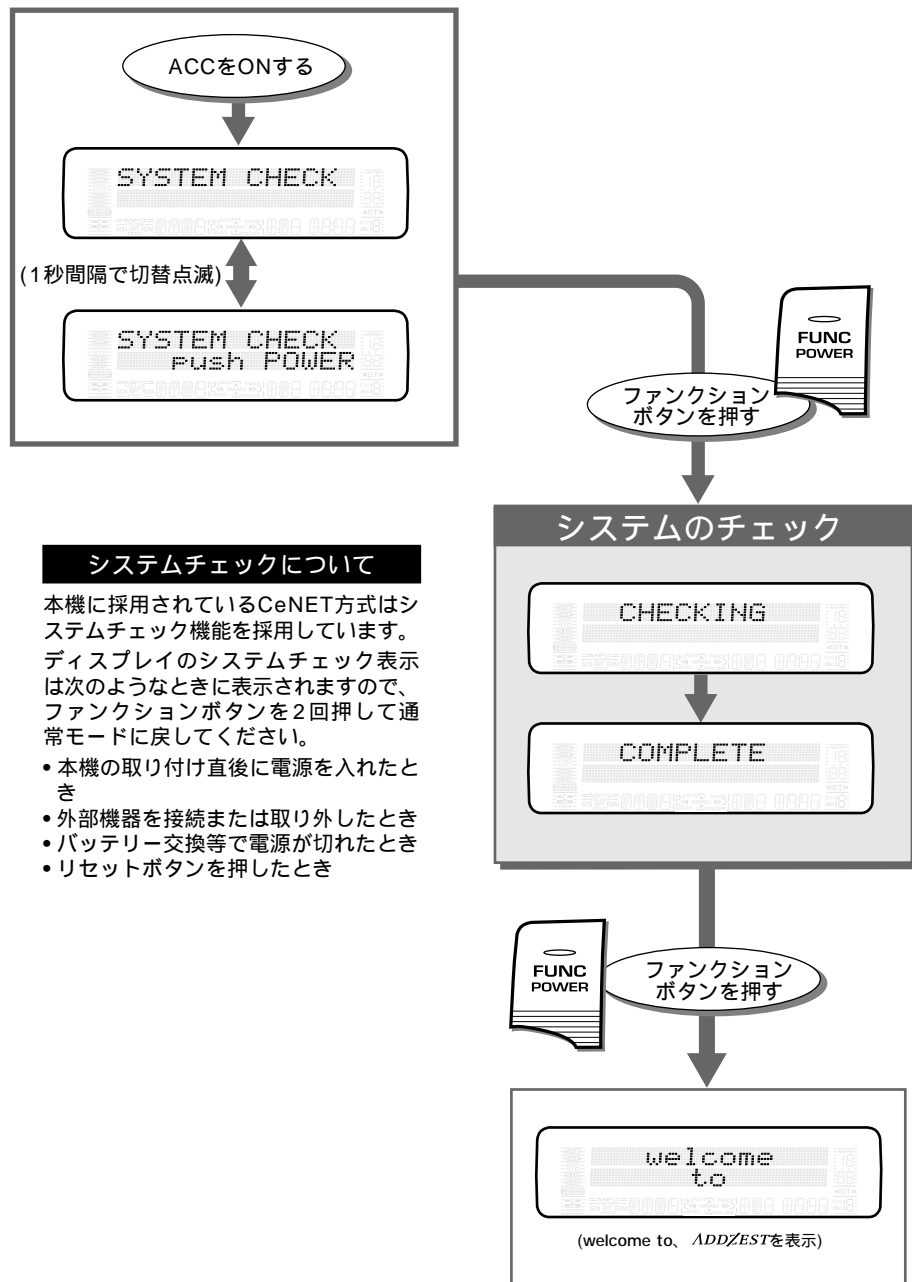
RANDOM ランダムボタン

- CD/MP3/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時には、ランダム演奏をします。
- TVモード時にTV/VTRを切換ええます。

本機
の
操
作

■ 各部の名称とはたらき

システムチェック時のディスプレイ表示

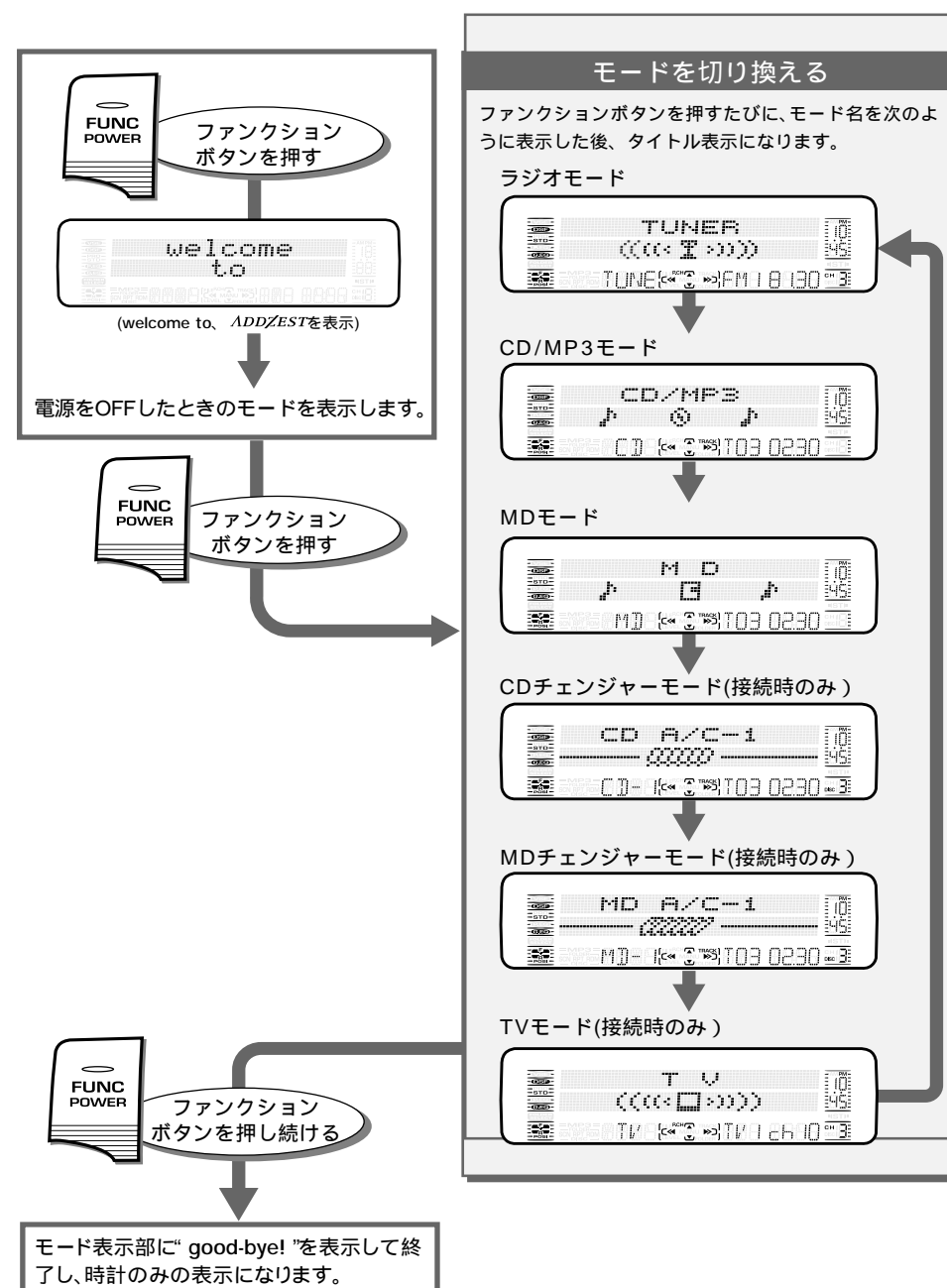


システムチェックについて

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。ディスプレイのシステムチェック表示は次のようなときに表示されますので、ファンクションボタンを2回押して通常モードに戻してください。

- 本機の取り付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続または取り外したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき

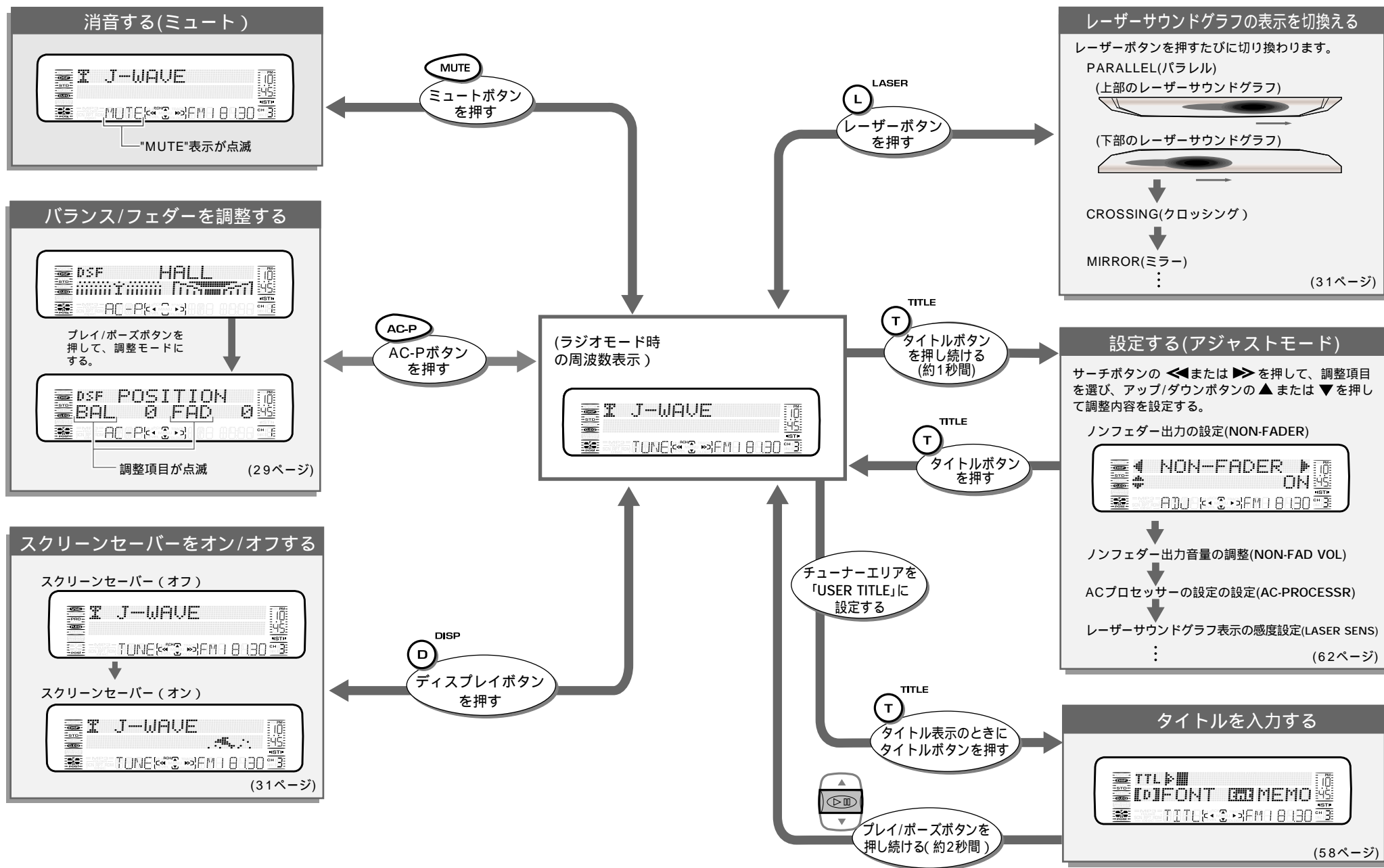
電源ON/OFF時のディスプレイ表示



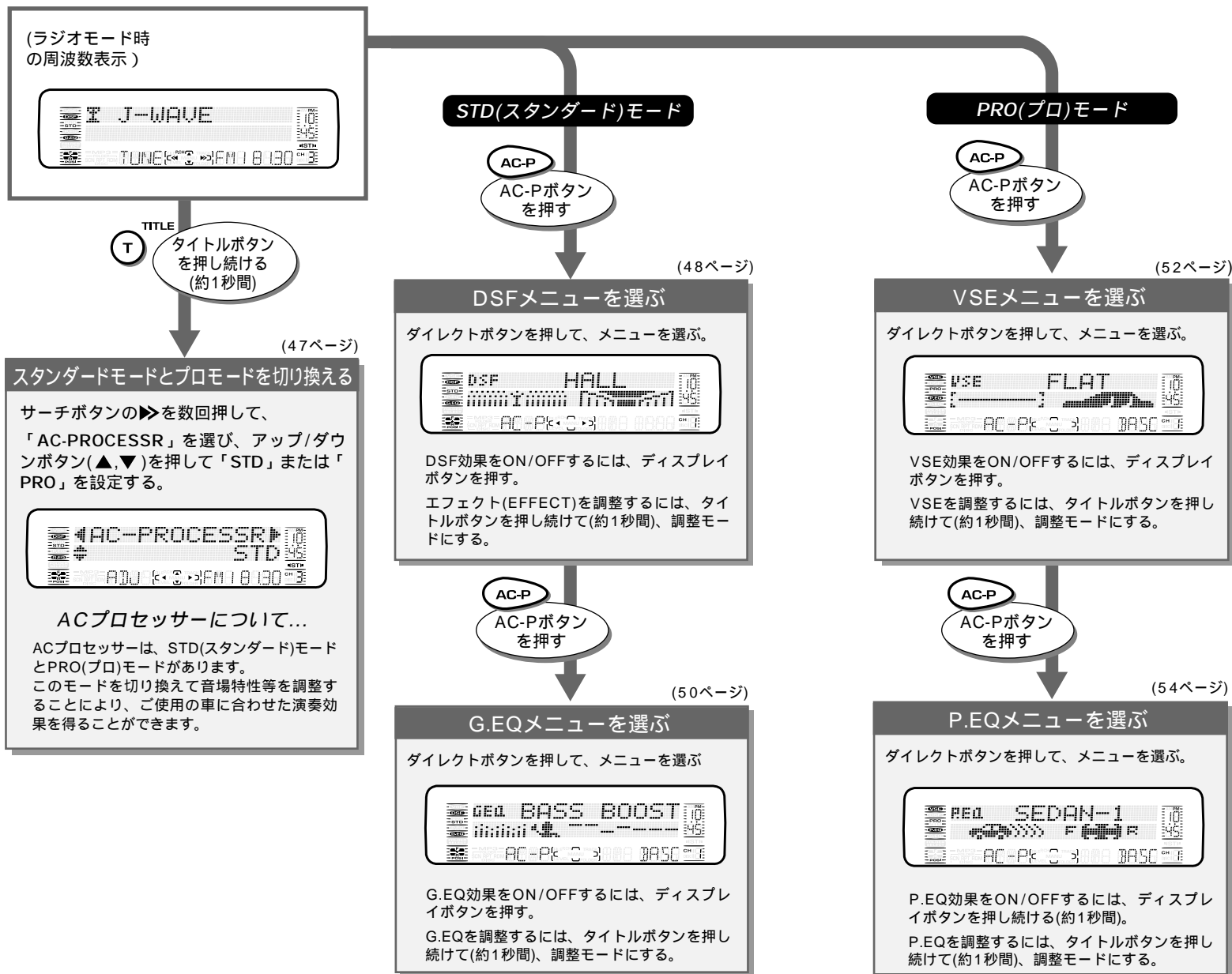
本機
の
操
作

■ 各部の名称とはたらき

各種設定/調整時のディスプレイ表示



各種設定/調整時のディスプレイ表示



各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

各モード共通の表示

タイトル表示部
: 各モードにおけるタイトル情報等を表示します。
詳しくは、次項のモード別ディスプレイ表示をご覧ください。

キャラクター表示部
: アジャストモード/ACプロセッサー等における設定/調整値あるいはスクリーンセーバーパターンを表示します。(32ページ参照)

時計表示部

モードに対応した演奏状況等を表示

ACプロセッサー表示

STD : スタンダードモード選択時に点灯

DSF : DSFモード

G.EQ : G.EQモード

PRO : プロモード選択時に点灯

VSE : VSEモード

P.EQ : P.EQモード

F R POSI : リスニングポジション表示

モードアイコン表示

TUNE : ラジオモード

CD : CD/MP3モード

MD : MDモード

CD-0 : CDチェンジャーモード

MD-0 : MDチェンジャーモード

TV : TVモード

TEL : TELモード

ラジオ /TV(接続時)モードの表示

タイトル表示選択時
J-WAVE : 受信中の放送局名
NO-TITLE : タイトル未設定のとき

選局操作時
PRESET SCAN : プリセットスキャン選択時に表示
AUTO STORE : オートストア選択時に表示
SEEK UP : アップ方向への自動選局時に表示
SEEK DOWN : ダウン方向への自動選局時に表示

受信状態表示

- ラジオモード時
受信バンドと周波数を表示
- TVモード時
受信バンドとチャンネルを表示

「IST」 : ステレオ受信インジケータ

プリセットNo.

MANU : マニュアル選局時に点灯

SCN : プリセットスキャン選択時に点灯

本機
の
操
作

モード別ディスプレイ表示

CD/MP3/MD モードの表示

• 選曲操作時の表示

TRACK SCAN : CD/MDモードのスクアン演奏時に表示
 TRACK REPEAT : CD/MDモードのリビート演奏時に表示
 TRACK RANDOM : CD/MDモードのランダム演奏時に表示
 FILE SCAN : MP3モードのスクアン演奏時に表示
 FILE REPEAT : MP3モードのリビート演奏時に表示
 FILE RANDOM : MP3モードのランダム演奏時に表示
 FOLDER SCAN : MP3モードのフォルダースクアン演奏時に表示
 FOLDER REPEAT : MP3モードのフォルダリビート演奏時に表示
 FOLDER RANDOM : MP3モードのフォルダランダム演奏時に表示

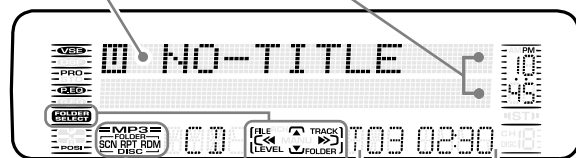
• その他の表示

NO DISC : ディスクがないとき
 ERROR 2 : エラー発生時
 FILE READ : ファイルシステム
 読み込み中

• タイトル表示・・・上段/下段にタイトルを表示します。

[CD] ABCXXX : CDにおけるユーザータイトル表示
 [CD] NO-TITLE : CDにおけるユーザータイトル未設定のとき
 [MD] ABCXXX : MDにおけるディスクタイトル表示
 [MD] NO-TITLE : MDにおけるディスクタイトル未設定のとき
 [MP3] ABCXXX : MP3におけるフォルダ名表示
 [MD] ABCXXX : MDにおけるトラックタイトル表示
 [MD] NO-TITLE : MDにおけるトラックタイトル未設定のとき
 [MP3] ABCXXX : MP3におけるファイル名表示

2段表示にするには、ディスプレイボタンを押してスクリーン
 セーバーをオフにしてください。(31ページ参照)
 タイトル表示は、ディスプレイボタンを押し続けて、入れ替え
 ことができます。(33ページ参照)



MP3 : MP3ディスク演奏時に点灯

FOLDER : フォルダースクアン/フォルダリビート/フォルダランダム演奏時に点灯

SCN : トラックスクアン/ファイルスクアン演奏時に点灯

RPT : トラックリビート/ファイルリビート演奏時に点灯

RDM : トラックランダム/ファイルランダム演奏時に点灯

TRACK : CD/MD演奏時に点灯

FILE : MP3ディスク演奏時に点灯

FOLDER : MP3演奏時およびフォルダ選択モード時に点灯

LEVEL : フォルダ選択モード時に点灯

FOLDER SELECT

CD/MD チェンジャーモード(接続時)の表示

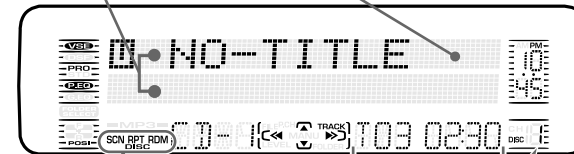
• タイトル表示・・・上段/下段にタイトルを表示します。

[CD] ABCXXX : CDテキストにおけるユーザータイトル表示
 [CD] ABCXXX : CDテキストにおけるディスクタイトル表示
 [CD] ABCXXX : CDテキストにおけるトラックタイトル表示
 [CD] ABCXXX : CDテキストにおけるアーティスト名表示
 [MD] ABCXXX : MDにおけるディスクタイトル表示
 [MD] ABCXXX : MDにおけるトラックタイトル表示

タイトル未設定のときは、CD/MDモードと同様な表示をします。

• その他の表示

NO DISC : ディスクがないとき
 ERROR 2 : エラー発生時
 NO MAGAZINE : CDチェンジャーのマガジンがないとき



ディスクNo.

演奏トラック/演奏時間

SCN : スクアン演奏中
 SCN Disc : ディスクスクアン演奏中
 RPT : リビート演奏中
 RPT Disc : ディスクリビート演奏中
 RDM : ランダム演奏中
 RDM Disc : ディスクランダム演奏中

各部の名称とはたらき

別販リモコン(RCB-130)の使いかた

モードを選ぶ ファンクションボタン

電源が入ります。また、押すたびにモードが切りかわります。

ラジオ→CD/MP3→MD→(CDチェンジャー)
↑
(AUX)→(TV)→(MDチェンジャー)

押し続ける(1秒間)と、電源が切れます。

音量を調節する ▲▼(ボリューム)ボタン

音を消す ミュートボタン

ミュート(消音)機能をオン/オフします。

ISRメモリーを呼出す ISRボタン

ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ラジオモードでISRボタンを押し続けます(約2秒間)。元のモードに戻すには、もう1度ISRボタンを押します。

曲を探す/放送局をプリセットする スキャンボタン

スキャン演奏します。
(CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)
押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。
(CD/MDチェンジャーモード時)
MP3モード時に押すと、ファイルスキャンをします。
押し続ける(約1秒間)とフォルダスキャンをします。
プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン、ラジオ/TVモード時)
また、押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。(オートストア、ラジオ/TVモード時)
解除するときは、もう1度スキャンボタンを押します。

繰り返し演奏する リピートボタン

繰り返し演奏します。
(CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)
押し続ける(約1秒間)と、ディスクの繰り返し演奏をします。(CD/MDチェンジャーモード時)
MP3モード時に押すと、ファイルリピートをします。
押し続ける(約1秒間)とフォルダリピートをします。
TVモード時にステレオ/モノラルに切替えます。
解除するときは、もう1度リピートボタンを押します。

演奏する ▶/|| (プレイ・ポーズ)ボタン

演奏と一時停止をします。
(CD/MP3/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)

選曲する/選局する ◀▶サーチボタン

押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。
押し続けると、早送り/早戻しをします。
(CD/MP3/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)
プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。
(ラジオ/TVモード時)

最初の曲から演奏する/バンドを切り換える バンドボタン

最初の曲から演奏します。(CD/MDモード時)
受信バンドを切替えます。(ラジオ/TVモード時)

次のCD(またはMD)を演奏する ディスクアップボタン

次のCD(またはMD)を演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)

表示を切り換える ディスプレイボタン

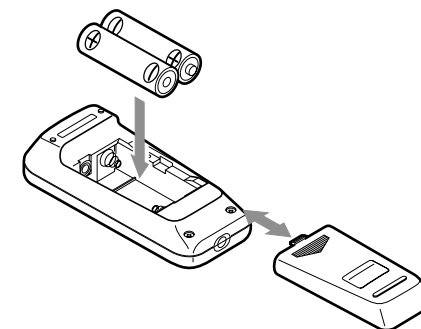
スクリーンセーバーのオン/オフを切替えます。
また、押し続ける(約1秒間)とディスクのタイトル表示を入れ替えます。

ランダム演奏する/TVをVTRに切り換える ランダムボタン

ランダム演奏します。
(CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)
押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)
MP3モード時に押すと、ファイルランダムをします。
押し続ける(約1秒間)とフォルダランダムをします。
TVモード時にTVをVTRに切替えます。
解除するときは、もう1度ランダムボタンを押します。

電池の入れかた

- ① リモコンを裏返して、矢印の方向に裏ぶたをスライドさせます。
- ② 付属の電池(1.5Vの単3形乾電池2個)を図のような向きに入れ、裏ぶたを閉めます。

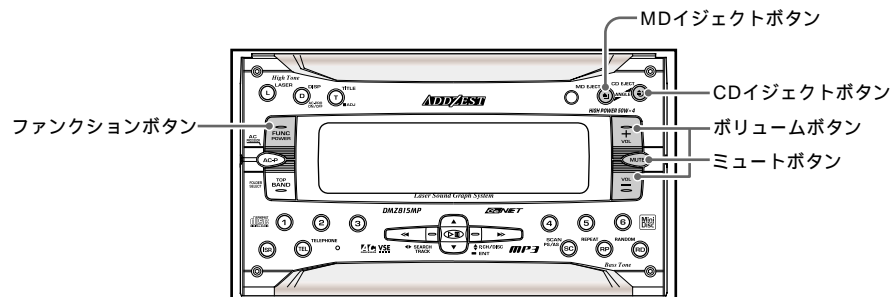


注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- ・指定電池以外は使用しない。
- ・電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- ・電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
- ・使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。

基本の操作



電源を入れる

1 ファンクションボタンを押す



前回の操作終了時のモードが表示されます。

ご注意

- ・バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。
- ・時刻の設定は、28ページをご覧ください。

電源を切るときは...

ファンクションボタンを押し続けてください。
(約1秒間)

システムチェックについて...

結線後、電源ボタンを押して、電源を入れると「SYSTEM CHCK」と「Push POWER」が表示されますので、ファンクションボタンを押してください。「CHECKING」が表示され、接続した機器をチェックします。システム確認が終わると「COMPLETE」が表示されますので再度ファンクションボタンを押してください。通常の動作をはじめます。詳しくは「システムチェック時のディスプレイ表示」(14ページ)をご覧ください。

モードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押す



押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオ→CD/MP3→MD→(CDチェンジャー)
→(AUX)→(TV)→(MDチェンジャー)→

- ・接続していない機器のモードは表示されません。
- ・CD/MP3/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時に、CDまたはMDが入っていないときには「NO DISC」、CDチェンジャーモード時にチェンジャーにマガジンが入っていないときには「NO MAGAZINE」を表示します。

スロープコンソールの角度を調整する

スロープ角度調整について...

ディスプレイの表示が見にくいときに、スロープコンソールの角度を変えて見やすくなります。角度を調整できる範囲は0～約30度までの間です。調整した角度は、メモリーされます。

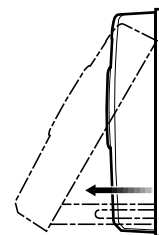
1 MDイジェクトボタンを押し続ける

MD EJECT



指を離れたところで止まります。

- ・MDイジェクトボタンを押すとき、スロープが動き出す前に指を離してしまうと、フルオープン(ディスクを取り出せる状態)となります。
- ・押し続けるとピープ音が「ピッピッ」と鳴り、それ以上、角度を調整することはできません。



ご注意

- ・本機を使用しないときは、安全のためスロープコンソールを閉じてください。

スロープコンソールのメモリー角度を解除するには...

CDイジェクトボタンを押し続けてください。

CD EJECT



- ・CDイジェクトボタンを押すとき、スロープが動き出す前に指を離してしまうと、フルオープン(ディスクを取り出せる状態)となります。
- ・押し続けるとピープ音が「ピッピッ」と鳴り、それ以上、角度を調整することはできません。

音量を調節する

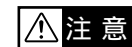
1 ボリュームボタンの+または-を押す



(小さくなります。)



(大きくなります。)



注意

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

音を消す(ミュート)

1 ミュートボタンを押す

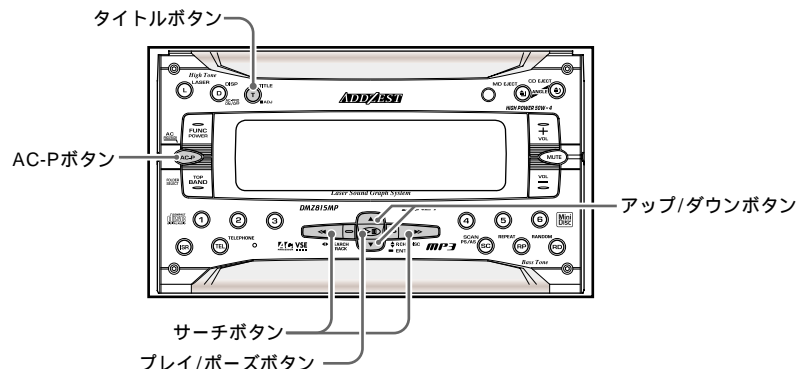


モード表示部に「MUTE」と点滅表示します。

元の音量に戻すには...

もう1度ミュートボタンを押すか、ボリュームボタンの+または-を押してください。

■ 基本の操作



時刻を合わせる

時計表示について...

本機は、車のエンジン作動時 (ACC ON時) に時計を表示します。時計は12時間表示です。ナビゲーション接続時はナビゲーションシステムから時刻データが供給されるため、本機で設定する必要はありません。

・時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする

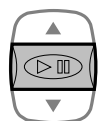


「◀ NON-FADER ▶ OFF」が表示されます。

- 2 サーチボタンの ◀ または ▶ を押して、「◀ CLOCK ADJ ▶ PUSH Ent」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



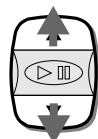
「CLOCK ADJ AM 1:00」を表示して、時刻設定モードになります。

- 4 サーチボタンの ◀ または ▶ を押して、時または分を選ぶ



・点滅している項目を調整できます。

- 5 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、数字を合わせる

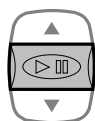


数字が大きくなります。

数字が小さくなります。

- 6 手順4～5を繰り返して、時刻を設定する

- 7 プレイ/ポーズボタンを押す



ピープ音が「ピー」と鳴り、時刻が設定されます。

次ページに続く>>

ご注意

・点検や修理などでバッテリーをはずしたときには、もう1度時刻合わせをしてください。

- 8 タイトルボタンを押す



元のモードに戻ります。

バランス/フェダーを調整する

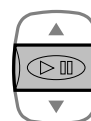
バランス、フェダー調整について...

選択したリスニングポジションに、さらにバランス、フェダーを調整することにより、自然な音像定位をきめ細かく調整できます。

- 1 AC-Pボタンを押して、DSFまたはVSEモードにする



- 2 プレイ/ポーズボタンを押して、調整モードにする。

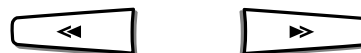


調整項目が点滅します。



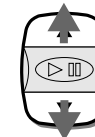
調整項目が点滅

- 3 サーチボタンの ◀ または ▶ を押して、バランス(BAL)またはフェダー(FAD)を選ぶ



- 4 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、調整量を増減させる

左右のスピーカー(バランス)の調整



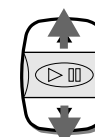
右のスピーカーの音が強調される

左のスピーカーの音が強調される

・調整範囲は、Left9～Right9です。

・リスニングポジションを「設定なし」にしているときには、Left13～Right13です。

前後のスピーカー(フェダー)の調整



前方スピーカーの音が強調される

後方スピーカーの音が強調される

・調整範囲は、Front9～Rear9です。

・リスニングポジションを「設定なし」にしているときには、Front12～Rear12です。

- 5 プレイ/ポーズボタンを押して、DSFまたはVSEモード画面に戻る



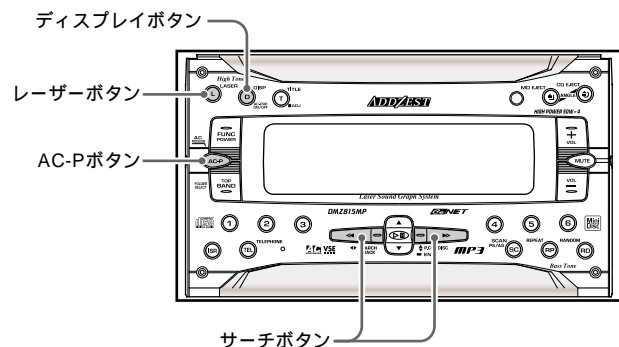
- 6 AC-Pボタンを2回押して、元のモードに戻る



ご注意

スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。また、プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。

■ 基本の操作



リスニングポジションを設定する

リスニングポジションについて...
スピーカーからの音の到着時間を座席位置に合わせて5タイプから選ぶことができます。

- 初期設定は「前部座席」です。
- この機能はACプロセッサーがスタンダードモード (STD) のときに設定できます。設定のしかたは「スタンダードモードとプロモードを切り換える」(47ページ)をご覧ください。

1 AC-Pボタンを押してDSFモードにする

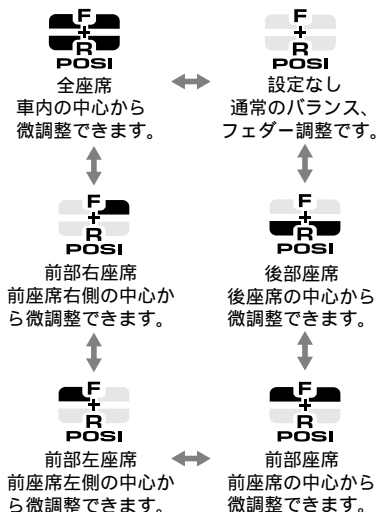


2 サーチボタンの ◀ または ▶ を押す



押すたびに、リスニングポジションが切り換わります。リスニングポジションインジケータは、右図のように点灯表示します。

3 AC-Pボタンを2回押して、元のモードに戻る



レーザーサウンドグラフの表示を切り換える

レーザーサウンドグラフについて...
パネルの上部と下部に設けられたイルミネーションにおいて、上部イルミネーションが高音域に連動、下部イルミネーションが低音域に連動して、サウンドレベルを表示する機能です。

- 初期設定は「LASER SCAN」です。

ご注意

- レーザーサウンドグラフの表示がまぶしく感じられるような場合は、レーザー表示をオフにしてください。

1 レーザーボタンを押して、表示パターンを切り換える



レーザーボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

1.LASER SCAN(レーザースキャン)

以下のパターン2~7を30秒ごとに順番に表示

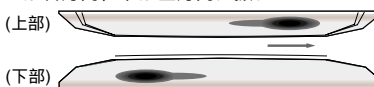
2.PARALLEL(パラレル)

上と下の表示が右方向に振れる



3.CROSSING(クロッシング)

上が右方向、下が左方向に振れる



4.MIRROR(ミラー)

中央から左右対称に振れる



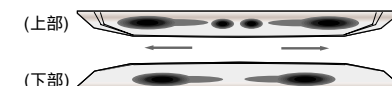
5.SPREAD(スプレッド)

中央から左右へ光の帯が広がる



6.SPLASH(スプラッシュ)

サウンドピークに合わせて中央から左右へ光が流れる



7.BLINKING(ブリンキング)

サウンドピークに合わせて点滅



8.LASER OFF

レーザー表示しません。(表示部周辺のみがブルーで照明されます)

1.最初のLASER SCANに戻ります。

レーザーサウンドグラフのバックライトをオン/オフするには...

レーザーボタンを押し続けてください。(約1秒間)

スクリーンセーバーをオン/オフする

1 ディスプレイボタンを押して表示を選ぶ

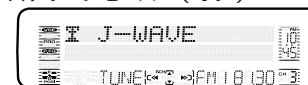


押すたびに、次のように切り換わります。

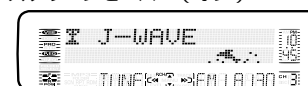
- 設定した表示は、電源を切っても継続します。

ラジオモードの場合

スクリーンセーバー (オフ)



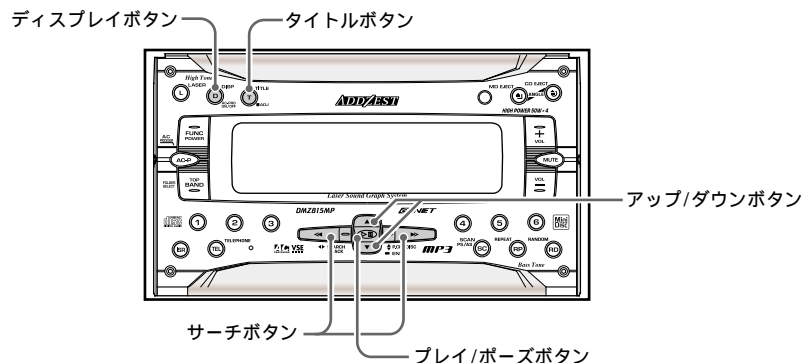
スクリーンセーバー (オン)



ご注意

- タイトル表示を2段表示するには、スクリーンセーバーをオフにしてください。

■ 基本の操作



スクリーンセーバーを切り換える

スクリーンセーバーについて...
4種類のパターンからお好みの表示を選ぶことができます。

初期設定は「RANDOM」です。

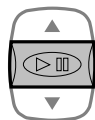
- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの◀◀または▶▶を押して、「SCREEN PATN PUSH Ent」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押して、スクリーンセーバーパターンを表示させる



- 4 アップ/ダウンボタンの▲または▼を押して、パターンを選ぶ



1. RANDOM(ランダム)

次の2～4のパターンをランダムに表示します。

2. HIBISCUS(ハイビスカス)



3. SQUIRREL(リス)



4. DOLPHIN(イルカ)



- 5 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



タイトル表示を切り換える

タイトル表示について...

CDチェンジャーモードにおけるCDテキスト再生時、MD/MDチェンジャーモードにおけるMD再生時に、ディスクにあらかじめ登録されているディスクタイトル、トラックタイトル、アーティスト名(CDテキストのみ)を表示します。MP3再生時では、フォルダー名、ファイル名を表示します。

- ・タイトル表示を2段表示するには、ディスプレイボタンを押してスクリーンセーバーをオフにしてください。(31ページ参照)

以下の記載は、2段表示に設定されているときの操作手順です。

- 1 タイトルが表示されているときに、ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイボタンを押し続けるたびに、次のように表示が切り換わります。



- ・スクリーンセーバーを表示している場合は、上段の表示部のみ、タイトル表示をします。
- ・タイトルが未設定のときの表示は、モード別ディスプレイ表示(22～23ページ)をご覧ください。

タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールについて...

タイトルスクロールは、「タイトルスクロール方法」を設定する(66ページ)で選択したスクロール方法に従い表示します。

- ・「ON」: 自動でスクロールを開始し、スクロールし続けます。
- ・「OFF」: タイトルボタンを押すとスクロールします。

以下の記載は、「OFF」に設定されているときの操作手順です。

- 1 タイトルが表示されているときに、タイトルボタンを押す



タイトルが左にスクロールします。

- ・タイトルの末尾まで表示すると、最初のタイトル表示に戻ります。

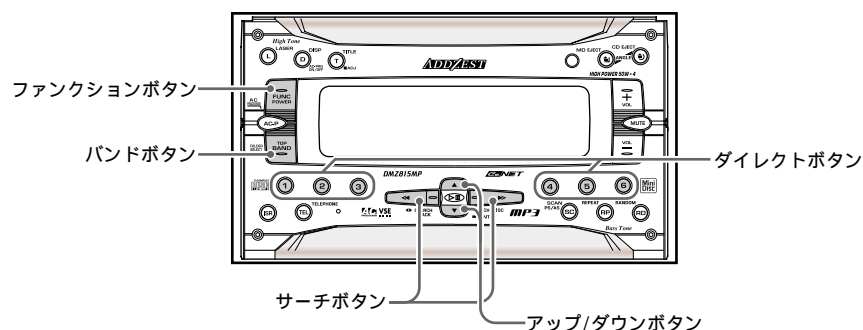
ご注意

下の設定状況にあるときは、タイトルボタンを押してもタイトルスクロールはしません。

- ・ラジオモードの「チューナーエリアを設定する」で「USER TITLE」を選択しているとき。
- ・TVモードの「TVエリアを設定する」で「USER TITLE」を選択しているとき。
- ・CDモード/CDチェンジャーモードで「USER TITLE」を選択しているとき。

この設定のときに、タイトルボタンを押すと、タイトル入力モードになりますので、ご注意ください。

ラジオ放送を聴く

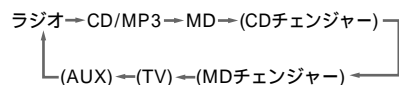


ラジオモードを選ぶ

- 1 ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ



ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)



ご注意

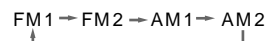
- ・受信地域内の放送局名を表示させたいときは、「チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)」(67 ページ) で、受信エリアを設定してください。

受信バンドを切り換える

- 1 バンドボタンを押して、受信バンド切り換える



バンドボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



自動選局する(シーク選局)

- 1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、自動選局ができます。

- 2 サーチボタンの ◀◀ または ▶▶ を押す



放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

- 1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

- 2 サーチボタンの ◀◀ または ▶▶ を押し、放送のあるところに合わせる



* 手動選局には、クイック選局とステップ選局があります。

- ・ステップ選局のときは、サーチボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- ・クイック選局のときは、サーチボタンを押し続けると、周波数が連続して切り換わり、好みの周波数に合わせることができます。

プリセット選局する

プリセット選局について...

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

- 1 ダイレクトボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ



ディスプレイに放送局名とプリセットNo.を表示します。

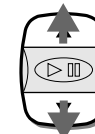
- ・メモリーするときは、「プリセットメモリーする」(次項)をご覧ください。

ご注意

- ・選局時にダイレクトボタンを押し続けなくてください。(約2秒間)押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

プリセットメモリーを呼び出す

- 1 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押す



ボタンを押すたびに、次のプリセットチャンネルを呼び出します。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて...

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

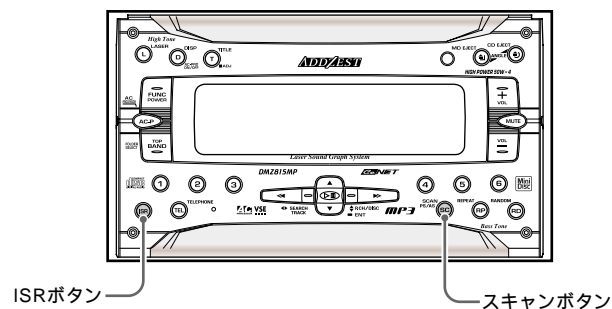
- 1 サーチボタンの ◀◀ または ▶▶ を押し、メモリーしたい放送局を選ぶ



- 2 メモリーさせたいダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



ディスプレイにプリセットNo.を表示し、メモリーされるとピープ音が「ピー」と鳴ります。



自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について...

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 スキャンボタンを押し続ける(約2秒間)



ディスプレイに「AUTO STORE」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン(1~6)にメモリーされていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまでメモリーされていた放送局は消去されます。
- メモリーできる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、メモリーされなかったダイレクトボタンにはそれまでのメモリー内容が残っています。
- すでにメモリーされている放送局を、別のダイレクトボタンにメモリーすることはありません。

放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて...

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 スキャンボタンを押す



ディスプレイに「PRESET SCAN」を約2秒間表示し、プリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

- スキャンボタンを押し続けると、(約2秒間)オートストア機能になります。ご注意ください。

プリセットスキャンを解除するには...

もう1度、スキャンボタンを押してください。

ボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について...

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。(初期設定では、AM1620kHzの交通情報がメモリーされています)

1 ISRボタンを押す



初期設定時は、ディスプレイに受信周波数「AM 1620」と「ISR」を表示します。

元のモードに戻すには...

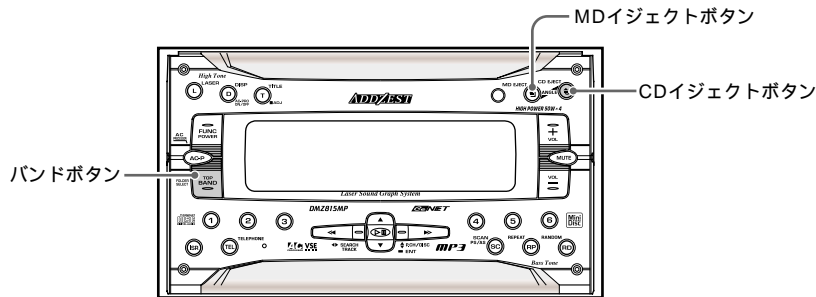
もう1度、ISRボタンを押してください。

ISRにメモリーするには...

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局しISRボタンを押し続け(約2秒間)てください。

ISRにメモリーされます。

CD/MP3/MDを聴く



MP3について

MP3とは

MPEG規格のオーディオ・レイヤー3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。オリジナルの音声データを約1/10のデータ量にまで圧縮でき、更に高音質なのが特長です。1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

MP3ディスク作成時のご注意

ファイル拡張子

- MP3ファイルには必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.mp3」を付けてください。MP3(mp3)以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。また、拡張子に大文字と小文字が混在する場合には正常に再生できません。
- MP3データでないファイルは再生できません。演奏時間表示部に「--:--」と点滅表示します。

論理フォーマット(ファイルシステム)

- MP3ファイルをCD-R/RWに記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「ISO9660レベル1またはレベル2(拡張フォーマット含まず)」を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。
- MP3再生ではフォルダー名、ファイル名をタイトルとして表示することが可能ですが、名称は半角英数16文字(拡張子含まず)までとなります。それ以外の文字、文字数を入力した名称は、正しく表示しない場合があります。

フォルダー構造

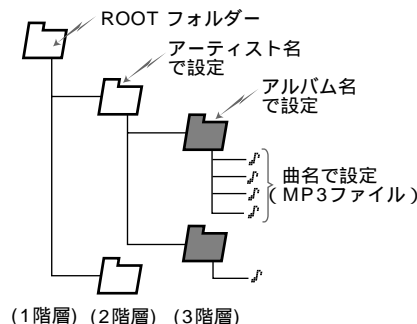
- フォルダーが8階層を超えたディスクに関しては、ISO9660に違反していますので再生できません。

ファイル/フォルダー数

- ファイル数とフォルダー数の合計が255まで認識します。(但し、フォルダー数の上限は、150以内) ファイル数とフォルダー数の合計が256以上の場合には、それ以上の曲は再生できません。
- 曲の演奏はディスクに記録した順番に行われます。(パソコン上で表示される順番通りに演奏されるとは限りません。)
- 記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。

MP3のフォルダー作成について

MP3のフォルダーは8階層まで作成できますが、以下の例のように、作成すると収録した曲の管理が容易になります。



演奏するディスクの種類を設定する

マルチセッション機能について...

通常のCDタイプの曲とMP3タイプの曲が混在しているディスクのときに、どのタイプで記録された曲を演奏するかを選択できます。
・初期値は「CD」です。

1 バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



押し続けるたびにCDタイプ/MP3タイプを切替えます。切換え時にタイトル表示部に以下のように表示します。

- CDタイプ選択時の表示 MULTI-SESS
CD
- MP3タイプ選択時の表示 MULTI-SESS
MP3

・演奏できる記録タイプは以下になります。

ディスク	設定	CDに設定	MP3に設定
CD/MP3 混在		CDを演奏	MP3を演奏
CDタイプのみ		CDを演奏	CDを演奏
MP3タイプのみ		MP3を演奏	MP3を演奏

- 設定した後は、1度ディスクを取り出して再挿入してください。

- CD/MP3の混在したディスクを演奏した場合にCDに設定すると、MP3タイプの曲は、音がでません。

ディスクを入れる

ディスク・イン・プレイ機能について...

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCがONであればCD/MDイジェクトボタンを押すと、スロープコンソールが開きます。さらにディスクを入れると自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

⚠ 注意

- スロープコンソール開閉時に、手や指などを挟まないようご注意ください。
- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

ご注意

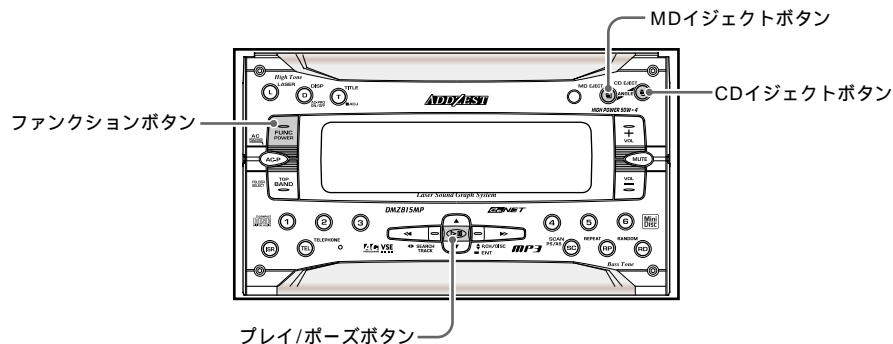
- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。
- イジェクトボタンを押してから、ディスクを挿入しないと、約30秒後にピープ音が鳴り、スロープコンソールが自動的に閉まりますので、ご注意ください。

シングルCD(8cmCD)について...

- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、CD挿入口の中央から入れてください。

次ページに続く➡

CD/MP3/MDを聴く



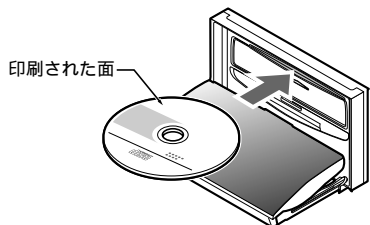
CD/MP3の場合

1 CDイジェクトボタンを押す



スロープコンソールが開きます。

2 CD挿入口にディスクを入れる

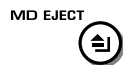


ディスクを入れると、数秒後にスロープコンソールが自動的に閉まり、演奏が始まります。

- ・CD-RまたはCD-RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。
- ・CDは、印刷されている面を上にして入れてください。裏返しに入れた場合、「ERROR6」を表示し、CDをイジェクトします。
- ・ブランクディスク(未録音CD-R)を入れた場合、「ERROR6」を表示し、CDをイジェクトします。

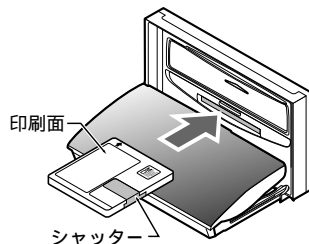
MDの場合

1 MDイジェクトボタンを押す




スロープコンソールが開きます。

2 MD挿入口にMDを入れる



MDを入れると、数秒後にスロープコンソールが自動的に閉まり、演奏が始まります。

- ・本機は  マーク表示の無いMDは使用できません。
- ・モノラルモードで録音されたMDは使用できません。
- ・MDは、印刷面を上、シャッター板を右側にして入れてください。
- ・ブランクディスク(未録音MD)を入れた場合、「ERROR6」を表示し、MDをイジェクトします。

ディスクを取り出す

バックアップイジェクト機能について...

本機の電源が入っていない状態からでもCD/MDイジェクトボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

ご注意

- ・ディスクを取り出した後、再度イジェクトボタンを押して、スロープコンソールを開けてください。スロープコンソールを開いたままにしておくと、約30秒後にピープ音が鳴り、自動的に閉まりますのでご注意ください。

CD/MP3の場合

1 CDイジェクトボタンを押す



- ・イジェクトされたCDは、必ず取り出してください。ディスクをイジェクトしたままにしておくと、約15秒後に本機内に引き込まれます。(オートリロード)

- ・シングルCDの場合はオートリロードされませんので、イジェクトしたときには必ずシングルCDを取り出してください。

ご注意

- ・イジェクトしたままの状態から無理にディスクを押し込むと、ディスク表面にキズを付ける恐れがありますので、一度ディスクを取り出してから挿入してください。

MDの場合

1 MDイジェクトボタンを押す



- ・イジェクトされたMDは、必ず取り出しててください。

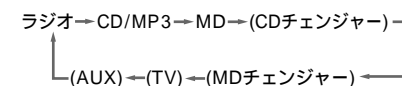
すでに入っているディスクを聴く

1 ファンクションボタンを押して、CD/MP3(またはMD)モードを選ぶ



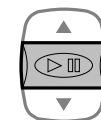
CD/MP3(またはMD)モードになると、自動的に演奏が始まります。

- ・ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)



演奏を止める(一時停止)

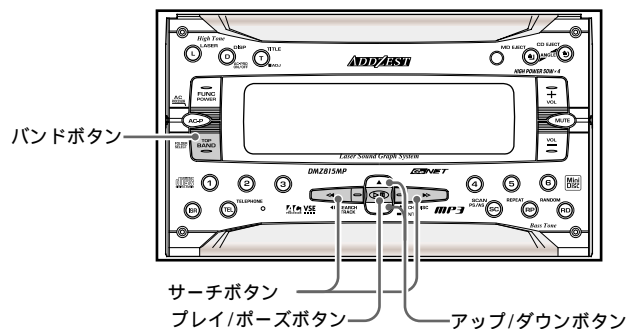
1 プレイ/ポーズボタンを押す



ディスプレイに「PAUS」を点滅表示します。

続けて演奏を聴きたいときには...

もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。



曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチボタンの **▶▶** を押す

2 前の曲を聴くときは、サーチボタンの **◀◀** を2回押す



▶▶ を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

◀◀ を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

・曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの **◀◀** を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、サーチボタンの **▶▶** を押し続ける

2 早戻しするときは、サーチボタンの **◀◀** を押し続ける



・MP3ディスクの場合、サーチ中および解除後は、次の曲の再生が始まるまで演奏時間が表示されません。また、サーチ中の曲から次の曲へ続けて早送り/早戻しはできません。

最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について

演奏しているCD(またはMD)の最初の曲から演奏をはじめます。

ご注意

・この機能は通常のCD(またはMD)を演奏しているときにのみ操作できます。MP3ディスクでは操作できません。

1 バンドボタンを押す



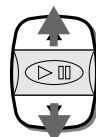
最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

フォルダーを選択して曲を演奏する(ダイレクト選択モード)

ダイレクト選択モードについて...

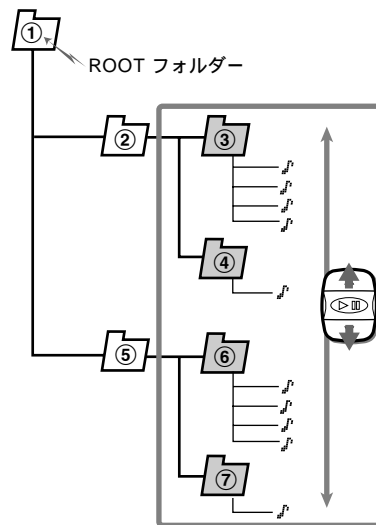
MP3ディスク再生時、MP3ファイルのあるフォルダーを選択して、そのフォルダー内の最初の曲から演奏します。

1 アップ/ダウンボタンの **▲** または **▼** を押す



▲を押したときは前のフォルダーに、▼を押したときは次のフォルダーに移ります。

(1階層) (2階層) (3階層)・・・(8階層)



・最終フォルダー(⑦)のときにアップ/ダウンボタンの **▼** を押すと、最初のフォルダー(③)に戻ります。
・MP3ファイルが存在しないフォルダー(①②⑤)は選択されません。

曲を選ぶには...

サーチボタンの **◀◀** または **▶▶** を押してください。



フォルダーを切り換える(フォルダー選択モード)

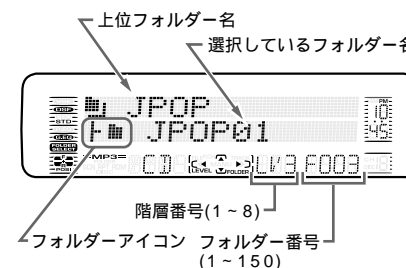
フォルダー選択モードについて...

MP3ディスク再生時、フォルダー名を確認しながらフォルダー選択します。

1 バンドボタンを押す



MP3フォルダー選択モードになると「FOLDER SELECT」を約2秒間表示した後、上位フォルダー名、選択されているフォルダー名、階層番号、フォルダー番号を表示します。



* 選択しているフォルダーアイコンは、以下のように表示します。

・ フォルダーは、MP3ファイルのある場合表示します。
・ フォルダーは、MP3ファイルのない場合表示します。
・ 選択モード中でも、曲の演奏を継続します。

2 階層を切換えるときは、サーチボタンの **◀◀** または **▶▶** を押す

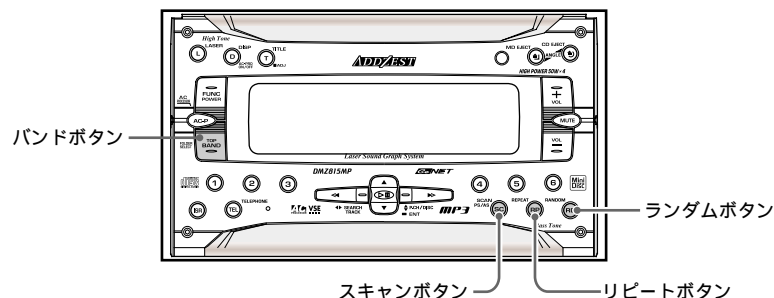


3 同一階層のフォルダーを移動するときは、アップ/ダウンボタンの **▲** または **▼** を押す



・フォルダー選択モードの場合は、左図における④から⑥のフォルダーに直接移動することはできません。

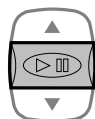
次ページに続く



最上層フォルダー(ROOT)に移動するには...

バンドボタンを押し続け(約1秒間)てください。

4 プレイ/ポーズボタンを押す



タイトル表示部に「SELECTED」を表示して選択したフォルダー内の最初の曲を演奏します。(フォルダー選択モードが解除されます。)

フォルダー選択モードを解除するには...

もう一度バンドボタンを押してください。

・バンドボタンを押してモードを解除したときは、操作手順2のフォルダー切換えはキャンセルされて、元のフォルダーに戻ります。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について...

CD(またはMD)に収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押す



ディスプレイに「SCN」が点灯、タイトル表示部に「TRACK SCAN」(MP3のときは「FILE SCAN」)を約2秒間表示して、スキャン演奏をします。

・スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

スキャン演奏を解除するには...

もう一度スキャンボタンを押してください。

ディスプレイの「SCN」が消え、いま演奏している曲が演奏されます。

聴きたいフォルダーを探す(フォルダースキャン演奏)

フォルダースキャン演奏について...

MP3ディスク内の全てのフォルダーの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイに「FOLDER」と「SCN」が点灯し、タイトル表示部に「FOLDER SCAN」を約2秒間表示して、フォルダースキャン演奏をします。

・スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

フォルダースキャン演奏を解除するには...

もう一度スキャンボタンを押してください。

ディスプレイの「FOLDER」と「SCN」が消え、いま演奏している曲が演奏されます。

1 曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について...

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す



ディスプレイに「RPT」が点灯、タイトル表示部に「TRACK REPEAT」(MP3のときは「FILE REPEAT」)を約2秒間表示して、リピート演奏をします。

リピート演奏を解除するには...

もう一度リピートボタンを押してください。

ディスプレイの「RPT」が消え、演奏している曲から通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について...

ディスクに収録されている曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す



ディスプレイに「RDM」が点灯、タイトル表示部に「TRACK RANDOM」(MP3のときは「FILE RANDOM」)を約2秒間表示して、ランダム演奏をします。

ランダム演奏を解除するには...

もう一度ランダムボタンを押してください。

ディスプレイの「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

フォルダー内の曲を繰り返し聴く(フォルダーリピート演奏)

フォルダーリピート演奏について...

演奏中のMP3フォルダー内の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイに「FOLDER」と「RPT」が点灯し、タイトル表示部に「FOLDER REPEAT」を約2秒間表示して、フォルダーリピート演奏をします。

フォルダーリピート演奏を解除するには...

もう一度リピートボタンを押してください。

ディスプレイの「FOLDER」と「RPT」が消え、演奏している曲から通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(フォルダーランダム演奏)

フォルダーランダム演奏について...

MP3ディスク内の全てのフォルダーの全ての曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイに「FOLDER」と「RDM」が点灯し、タイトル表示部に「FOLDER RANDOM」を約2秒間表示して、フォルダーランダム演奏をします。

フォルダーランダム演奏を解除するには...

もう一度ランダムボタンを押してください。

ディスプレイの「FOLDER」と「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

ACプロセッサーにできること

手軽に音を楽しみたい方へ

スタンダードモード(STD)の特長

- ・DSFによる音場シミュレーションでホールやライブハウスなど、その場所にいるような臨場感が手軽に得られます。
- ・G.EQによる7バンドのイコライザーで周波数レベルの補正が簡単に行えます。

スタンダードモード(STD)で調整できる項目

デジタル・サウンド・フィールド(DSF)

- ・リスニングポジションの調整
- ・DSFメニューの選択
- ・DSF効果のON/OFFの切り換え
- ・DSFの音場調整

グラフィックイコライザー(G.EQ)

- ・G.EQメニューの選択
- ・G.EQ効果のON/OFFの切り換え
- ・G.EQの周波数調整およびメモリー

車種に合わせたハイレベルの補正を行う方へ

プロモード(PRO)の特長

- ・VSEによる車室シミュレーションで、どの座席に座っていても同じ音響効果が得られるように、車室内の音圧分布の補正が行えます。
- ・P.EQによる車種に合わせた周波数補正により、周波数レベル全域をなめらかなカーブできめ細かく補正することができます。

プロモード(PRO)で調整できる項目

バーチャルスペースエンハンサー(VSE)

- ・VSEメニューの選択
- ・VSE効果のON/OFFの切り換え
- ・VSEの車室音場調整およびメモリー

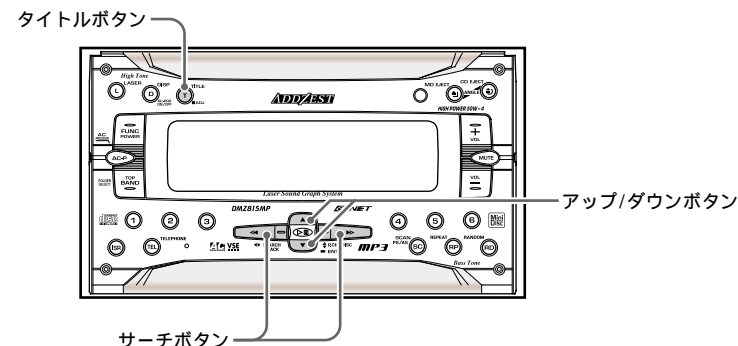
パラメトリックイコライザー(P.EQ)

- ・P.EQメニューの選択
- ・P.EQ効果のON/OFFの切り換え
- ・P.EQの周波数調整およびメモリー

どちらのモードでも調整できる項目

- ・G.EQ、VSE、P.EQのユーザーメモリーへのタイトル入力

スタンダードモードとプロモードを切り換える



モード選択について...

スタンダードモード(STD)またはプロモード(PRO)を選択してユーザーのお好みに合わせた音の調整、補正を行うことができます。

スタンダードモード(STD)

DSFおよびG.EQによって音場、音質が調整できます。

プロモード(PRO)

VSEおよびP.EQによって音場、音質が調整できます。

- ・初期設定は「STD」です。

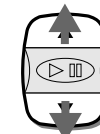
1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



2 サーチボタンの ◀◀ または ▶▶ を押して、「AC-PROCESSR」を選ぶ



3 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、「STD」または「PRO」に設定する



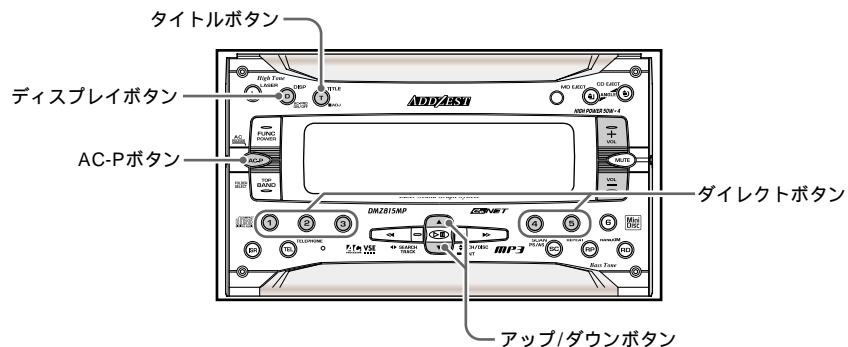
4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



ご注意

スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。また、プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。

DSFの操作(スタンダードモード)



DSFメニューを選ぶ

DSF(デジタル・サウンド・フィールド)について...

音場シミュレーションでホールやライブハウスなど、その場所にいるような臨場感が手軽に得られます。

「スタンダードモードとプロモードを切り換える(47ページ)の手順でスタンダードモード(STD)にしてください。

1 AC-Pボタンを押してDSFモードにする



2 ディレクトボタンを押して、DSFメニューを選ぶ



DSFメニュー

ボタン	機能名	内容
①	HALL(ホール)	小規模なホールのような音場
②	LIVE HOUSE(ライブハウス)	ジャズクラブより大きめのライブハウス
③	CLUB(クラブ)	低音が強調されたクラブのような音場
④	JAZZ CLUB(ジャズクラブ)	天井が低いジャズクラブのような音場
⑤	STUDIO(スタジオ)	リスニングルームのような音場

3 AC-Pボタンを2回押して、元のモードに戻る



DSF効果をON/OFFする

ディスプレイに **DSF** が表示されているときは、DSF効果が「ON」に設定されています。

・初期設定は「ON」です。

DSF効果を「OFF」に設定していると、「DSFの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

1 AC-Pボタンを押してDSFモードにする



2 ディスプレイボタンを押す



ディスプレイボタンを押すたびに、ON/OFFが切り換わります。

エフェクト(EFFECT)を調整する

エフェクトについて...

エフェクトとは、音が壁などにぶつかりはね返ってくる反射音のことです。本機はこの反射音の効果量を変えられます。

1 DSFメニューを選ぶ手順(1~2)で、調整のベースにするDSFメニューを選ぶ

2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)

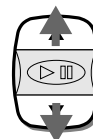


EFFECT(エフェクト:反射音の割合)調整モードになります。



・DSFメニューで5「STUDIO」を選択したときは、「EFFECT 50%」と表示し、それ以外では、「EFFECT 100%」と表示します。

3 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、エフェクトを調整する



・調整範囲は0%~100%です。

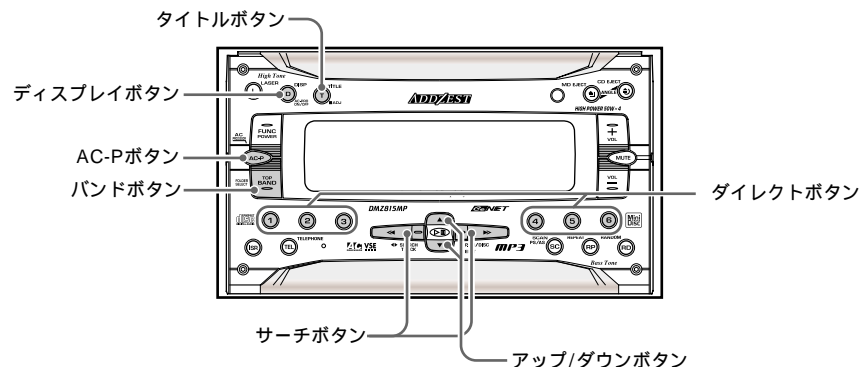
4 タイトルボタンを押して、DSFメニューに戻る



5 AC-Pボタンを2回押して、元のモードに戻る



G.EQの操作(スタンダードモード)



G.EQメニューを選ぶ

G.EQ (Graphic Equalizer) について...

7バンドのイコライザーで周波数レベルの補正が簡単に行えます。本機には、6種類のG.EQベーシックメニューがメモリーされています。お好みに合わせて設定してください。

1 AC-Pボタンを2回押して、G.EQモードにする



2 バンドボタンを押して、ベーシック「BASC」を選ぶ



ディスプレイに、「BASC」が表示されます。

ユーザーメモリーを呼び出すには...

バンドボタンを押して、「USER」を選んでください。

- ・バンドボタンを押すたびに、「BASC」と「USER」が切り換わります。
- ・「USER」に切り換えた後、ダイレクトボタンを押して、ユーザーメモリーを選んでください。

3 ダイレクトボタンを押して、G.EQメニューを選ぶ

① ~ ⑥

G.EQベーシックメニュー

ボタン	機能名	内容
①	BASS BOOST (バス ブースト)	重低音増強
②	HIGH BOOST (ハイ ブースト)	中高音域増強
③	ACOUSTICAL (アコースティカル)	中音域(人の声)増強
④	IMPACT (インパクト)	低音域と高音域を増強
⑤	SMOOTH (スムーズ)	しっとりとした感じ
⑥	FLAT (フラット)	原音、フラットイコライジング

4 AC-Pボタンを押して、元のモードに戻る



ご注意

スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。また、プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。

G.EQ効果をON/OFFする

ディスプレイに **G.EQ** が表示されているときは、G.EQ効果が「ON」に設定されています。

・初期設定は「ON」です。

G.EQ効果を「OFF」に設定していると、「G.EQの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

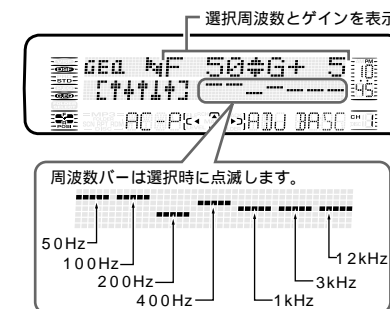
1 AC-Pボタンを2回押して、G.EQモードにする



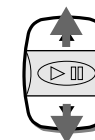
2 ディスプレイボタンを押す



ディスプレイボタンを押すたびに、ON/OFFが切り換わります。



4 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、ゲインを調整する



・調整範囲は、-12dB ~ +12dBです。

・レベルを上げすぎると、音がひずむ場合があります。

G.EQを調整/メモリーする (ユーザーメモリー)

ユーザーメモリーについて...

G.EQベーシックメニューを基に、お好みに合わせて周波数レベルを補正することができます。また調整内容は、6種類までメモリーできます。

1 G.EQメニューを選ぶ手順(1~3)で、調整のベースとなるG.EQメニューを選ぶ

2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



3 サーチボタンの ◀ または ▶ を押して、調整する周波数を選ぶ



5 手順3~4を繰り返して、各周波数を調整する

6 調整を終えたら、タイトルボタンを押す



7 メモリーするときには、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)

① ~ ⑥

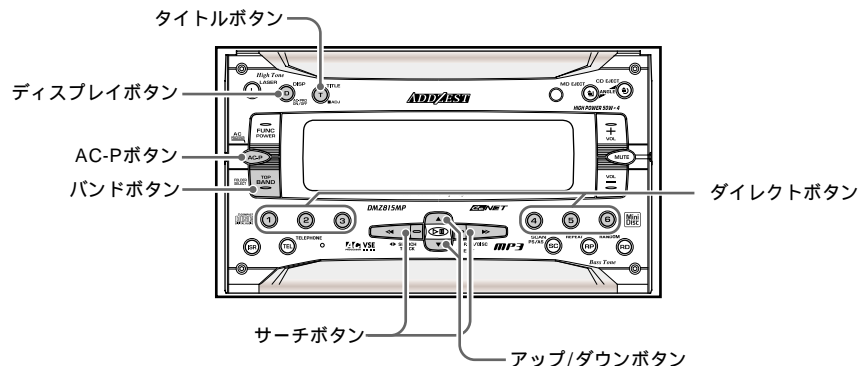
ユーザーメニューにメモリーされます。

・ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「VSE/EQメニューにタイトルをつける」(57ページ)をご覧ください。

8 AC-Pボタンを押して、元のモードに戻る



VSEの操作(プロモード)



VSEメニューを選ぶ

VSE(バーチャル・スペース・エンハンサー)について...

車室シミュレーションで、どの座席に座っていても同じ音響効果が得られるように、車室内の音圧分布の補正が行えます。

「スタンダードモードとプロモードを切り換える」(47ページ)の手順でプロモード(PRO)にしてください。

1 AC-Pボタンを押してVSEモードにする



2 バンドボタンを押して、ベーシック「BASC」を選ぶ



ディスプレイに「BASC」が表示されます。

ユーザーメモリーを呼び出すには...

バンドボタンを押して、「USER」を選んでください。

- ・バンドボタンを押すたびに、「BASC」と「USER」が切り換わります。
- ・「USER」に切り換えた後、ダイレクトボタンを押して、ユーザーメモリーを選んでください。

3 ダイレクトボタンを押して、VSEメニューを選ぶ

① ~ ⑥

VSEベーシックメニュー

ボタン	S.EQ名	周波数特性
①	FLAT	フラットな特性
②	BASS BOOST	低音域を強調
③	HIGH BOOST	高音域を強調
④	IMPACT	低音域と高音域を強調
⑤	ACOUSTICAL	中音域を強調
⑥	SMOOTH	低音域から高音域にかけて段階的に減少

4 AC-Pボタンを2回押して、元のモードに戻る



ご注意

プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。また、スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。

VSE効果をON/OFFする

ディスプレイに **VSE** が表示されているときは、VSE効果が「ON」に設定されています。

- ・初期設定は「ON」です。

VSE効果を「OFF」に設定していると、「VSEの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

1 AC-Pボタンを押してVSEモードにする



2 ディスプレイボタンを押す



ディスプレイボタンを押すたびに、ON/OFFが切り換わります。



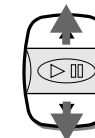
- ・調整範囲は、1 ~ 10です。

DIFFUSE
広がり感の補正ズレを調整します。

CAR WIDTH
車内の幅 横方向 に対する補正ズレを調整します。

CAR LENG
車内の長さ 縦方向 に対する補正ズレを調整します。

4 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、調整する



5 手順3 ~ 4を繰り返して調整し終わったら、タイトルボタンを押す



6 調整内容をメモリーするとき、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)

① ~ ⑥

ユーザーメニューにメモリーされます。

- ・ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「VSE/EQメニューにタイトルをつける」(57ページ)をご覧ください。

7 AC-Pボタンを2回押して、元のモードに戻る



VSEを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

ユーザーメモリーについて...

VSEベーシックメニューを基に、お好みに合わせて音圧分布を補正することができます。また調整内容は、6種類までメモリーできます。

1 VSEメニューを選ぶ手順(1 ~ 3)で、調整のベースにするVSEメニューを選ぶ

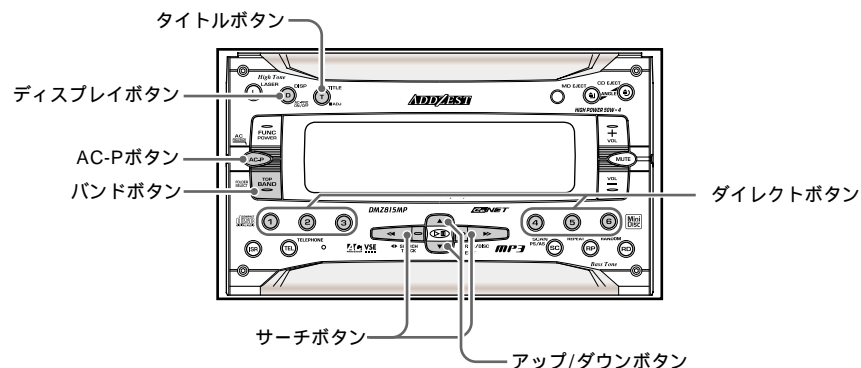
2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



3 サーチボタンの ◀ または ▶ を押して、調整項目を選ぶ



P.EQの操作(プロモード)



P.EQメニューを選ぶ

P.EQ(Parametric Equalizer)について...

車種に合わせた周波数補正により、周波数レベル全域をなめらかなカーブできめ細かく補正することができます。

本機には、あらかじめ車種およびスピーカー取付位置に合わせて6種類のP.EQベーシックメニューがメモリーされています。車種タイプに合わせて設定してください。

1 AC-Pボタンを2回押して、P.EQモードにする



2 バンドボタンを押して、ベーシック「BASC」を選ぶ



ディスプレイに「BASC」が表示されます。

ユーザーメモリーを呼び出すには...

バンドボタンを押して、「USER」を選んでください。

- ・バンドボタンを押すたびに、「BASC」と「USER」が切り換わります。
- ・「USER」に切り換えた後、ダイレクトボタンを押して、ユーザーメモリーを選んでください。

3 ダイレクトボタンを押して、P.EQメニューを選ぶ



P.EQ ベーシックメニュー

ボタン	車種タイプ	スピーカー取付位置
①	SEDAN-1	フロント; Fドア リア; リアパーセル
②	SEDAN-2	フロント; Fドア リア; Rドア
③	WAGON-1	フロント; Fドア リア; ラゲージ(横)
④	WAGON-2	フロント; Fドア リア; Rドア
⑤	MINI VAN-1	フロント; Fドア リア; ラゲージ(横)
⑥	MINI VAN-2	フロント; Fドア リア; Rドア

4 AC-Pボタンを押して、元のモードに戻る



ご注意

プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。また、スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。

P.EQ効果をON/OFFする

ディスプレイに「P.EQ」が表示されているときは、P.EQ効果が「ON」に設定されています。

- ・初期設定は「ON」です。

P.EQ効果を「OFF」に設定していると、「P.EQの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

1 AC-Pボタンを2回押して、P.EQモードにする



2 ディスプレイボタンを押す



ディスプレイボタンを押すたびに、ON/OFFが切り換わります。

P.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

ユーザーメモリーについて...

P.EQベーシックメニューを基に、ご自分の車に合わせて周波数特性を補正することができます。また調整内容は、6種類までメモリーできます。

1 P.EQメニューを選ぶ手順(1~3)で、調整のベースにするP.EQメニューを選ぶ

2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



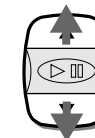
3 サーチボタンの◀または▶を押して、調整項目を選ぶ



調整項目	調整内容
F/R	チャンネル(フロント/リア)
BAND	バンド(1~3)
FREQ	周波数(20Hz~20kHz)
GAIN	ゲイン(-12dB~+12dB)
Q	Qカーブ(1/3/5/7/20)

詳しくは、次ページの「P.EQの調整について」をご覧ください。

4 アップ/ダウンボタンの▲または▼を押して、調整する



5 手順3~4を繰り返して調整し終わったら、タイトルボタンを押す



6 調整内容をメモリーするときには、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



ユーザーメニューにメモリーされます。

- ・ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「VSE/EQメニューにタイトルをつける」(57ページ)をご覧ください。

7 AC-Pボタンを押して、元のモードに戻る



■ P.EQの操作(プロモード)

P.EQの調整について

P.EQベーシックメニューを基に、ご自分の車に合わせて周波数特性を補正することができます。また調整内容は、6種類までメモリーできます。

P.EQメニューの調整内容は、以下の通りです。

- チャンネルの選択(FRONT/REAR)
補正したいチャンネル(フロントまたはリア)を選びます。
- 中心周波数の選択(FREQUENCY)
補正したい中心となる周波数を20Hz～20kHz範囲から選びます。
(1/3オクターブステップ、31ポイント)
- ゲインの調整(GAIN)
ゲイン(出力レベル)を-12dB～+12dBの範囲で調整します。
(1dBステップ、25ポイント)
- Qカーブの選択(Q)
Qカーブの鋭さを1、3、5、7、20のいずれかに設定します。

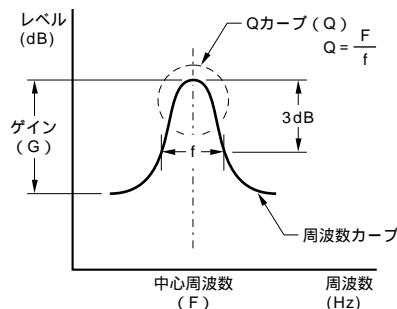
補正について

周波数特性を測定器で測ったときに、周波数特性が平坦(周波数特性に山や谷が無い状態)であれば、補正の必要はありませんが、周波数特性が部分的に持ち上がっていたり、下がっていることがあります。このようにときに、部分的に持ち上がった、下がったりしている部分の中心周波数に合わせて、逆の特性の周波数カーブをつくりだします。こうすることで周波数特性が補正され、平坦な周波数特性をつくりだすことができます。

このように、周波数特性をできるだけ平坦にすることが補正です。

・周波数特性の補正について

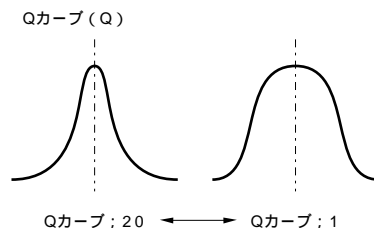
中心周波数、ゲイン、Qカーブの関係は、下図をご覧ください。



・Qカーブについて

Qカーブは、数値を大きく設定すると鋭く、数値を小さく設定すると緩やかなカーブになります。

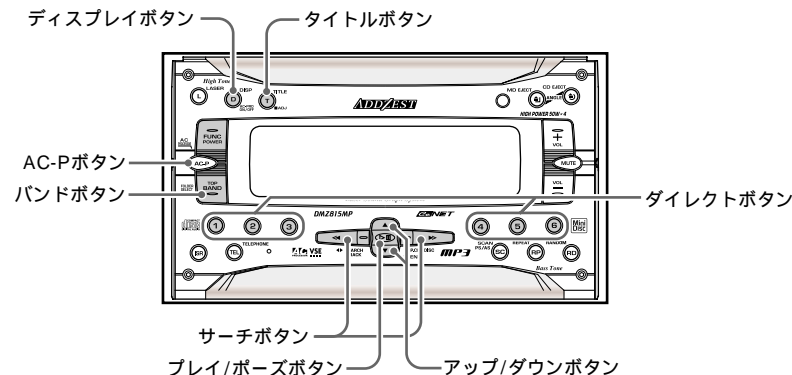
補正したい周波数カーブと逆のQカーブ(Q)を選ぶことで、平坦な周波数特性をつくりだすことができます。



F; 中心周波数、G; ゲイン(出力レベル)、Q; Qカーブ

ボタン (車種タイプ)	パラメトリックイコライザーパラメーター(初期設定)											
	チャンネル	バンド1			バンド2			バンド3				
1 (SEDAN-1)	フロント	F=250Hz	G=-8dB	Q=3	F=2kHz	G=-4dB	Q=1	F=5kHz	G=-4dB	Q=1		
	リア	F=250Hz	G=-10dB	Q=3	F=1.25kHz	G=0dB	Q=5	F=8kHz	G=0dB	Q=5		
2 (SEDAN-2)	フロント	F=250Hz	G=-10dB	Q=7	F=800Hz	G=-4dB	Q=3	F=8kHz	G=-5dB	Q=1		
	リア	F=80Hz	G=+3dB	Q=7	F=125Hz	G=-12dB	Q=5	F=1.25kHz	G=0dB	Q=5		
3 (WAGON-1)	フロント	F=250Hz	G=-8dB	Q=3	F=1kHz	G=-8dB	Q=3	F=10kHz	G=-6dB	Q=1		
	リア	F=250Hz	G=-8dB	Q=3	F=800Hz	G=-8dB	Q=1	F=8kHz	G=0dB	Q=5		
4 (WAGON-2)	フロント	F=250Hz	G=-8dB	Q=7	F=400Hz	G=-10dB	Q=7	F=1.25kHz	G=-8dB	Q=7		
	リア	F=125Hz	G=-8dB	Q=3	F=500Hz	G=-5dB	Q=5	F=1.6kHz	G=0dB	Q=3		
5 (MINI VAN-1)	フロント	F=125Hz	G=-4dB	Q=5	F=1.25kHz	G=-4dB	Q=3	F=2kHz	G=+3dB	Q=7		
	リア	F=250Hz	G=-6dB	Q=1	F=630Hz	G=-4dB	Q=3	F=8kHz	G=0dB	Q=5		
6 (MINI VAN-2)	フロント	F=250Hz	G=-4dB	Q=3	F=1.25kHz	G=-8dB	Q=3	F=80Hz	G=+3dB	Q=3		
	リア	F=250Hz	G=-8dB	Q=3	F=500Hz	G=-5dB	Q=5	F=8kHz	G=0dB	Q=5		

■ VSE/EQメニューにタイトルをつける



タイトル入力について...

G.EQ、VSE、P.EQのユーザーメニューにタイトルをつけて、選択したときに表示することができます。

- 1 タイトルをつけたい調整モードを選ぶ
- 2 バンドボタンを押してユーザー「USER」を選ぶ



ディスプレイに「USER」が表示されます。

- 3 ダイレクトボタンを押してタイトルをつけたいユーザーメモリーを選ぶ



- 4 タイトルボタンを押す



- 5 サーチボタンの<<または>>を押して、入力位置を決める

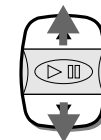


- 6 ディスプレイボタンを押して、文字の種類を切り換える



ディスプレイボタンを押すたびに、文字の種類が切り換わります。詳しくは、次ページをご覧ください。

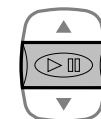
- 7 アップ/ダウンボタンの▲または▼を押して、入力文字を決める



・入力位置が点滅し、10文字まで入力できます。

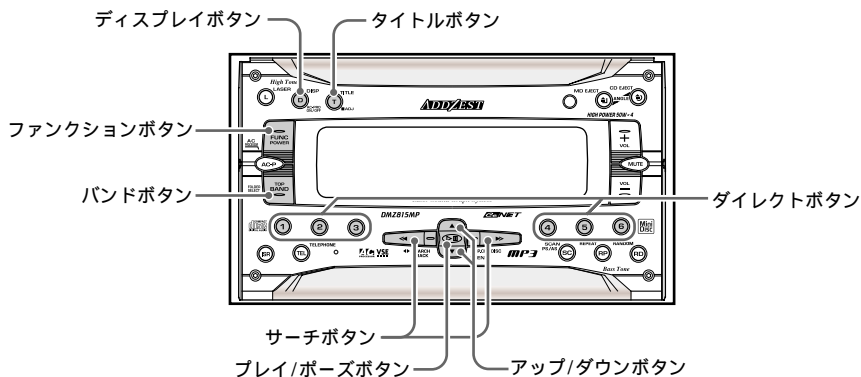
- 8 手順5～7を繰り返して、タイトルを入力する

- 9 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



タイトルがメモリーされます。

■ タイトルをつける



タイトルを入力する

タイトル入力について...

ラジオ/TVの放送局やCDに10文字までのタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させることができます。(ラジオ、TV、CD、CDチェンジャーモード時)

入力できるタイトル数は、次の通りです。

- ラジオモード : 30タイトル
- CDモード : 50タイトル
- TVモード : 15タイトル
- CDチェンジャーモード
 - 6枚チェンジャー : 60タイトル
 - 12枚チェンジャー : 50タイトル

1 チューナーエリアまたはTVエリアを「USER TITLE」に設定する(ラジオ/TVの放送局名を入力する場合のみ)

- ・エリアの切り換えかたは、「チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)」(67ページ)「TVエリアを設定する(TV AREA)」(68ページ)をご覧ください。

2 タイトルをつけたらラジオ局あるいはTV局を受信する、またはCDを演奏する

3 ディスプレイボタンを押し続けて、ユーザータイトル表示にする(CDチェンジャーモードのみ)



4 タイトルボタンを押す



タイトル入力モードになります。

5 サーチボタンの ◀◀ または ▶▶ を押して、入力位置を決める



点減しているカーソルが左または右に移動します。

- ・入力できる文字数は、10文字です。



ご注意

ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーは全て消去されますのでご注意ください。

6 ディスプレイボタンを押して、文字の種類を切り換える



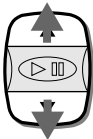
ディスプレイボタンを押すたびに、次のように文字の種類が切り換わります。

アルファベット大文字 ←
アルファベット小文字
カタカナ
数字 & 記号

入力文字種類

- アルファベット大文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U
V W X Y Z
- アルファベット小文字
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w
x y z
- 数字/記号
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . , ' : ; ! ? * % \$
% & * + - × / = () () ~ → ← ↑ ↓ ↕ ↖ ↗ ★
◆ ♣ ♠ ♡ ♢ ♣
- カタカナ
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト
ニノネホフヘホマミムメモヤヨラル
リレロワヲンアイウエオツヤユヨ。ー

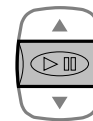
7 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、入力文字を決める



8 手順5～7を繰り返して、タイトルを入力する

- ・ダイレクトボタンの1を押すと、入力中のタイトルを右側から表示または左側から表示します。
- ・バンドボタンを押すと、入力中のタイトルが全て消えます。

9 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



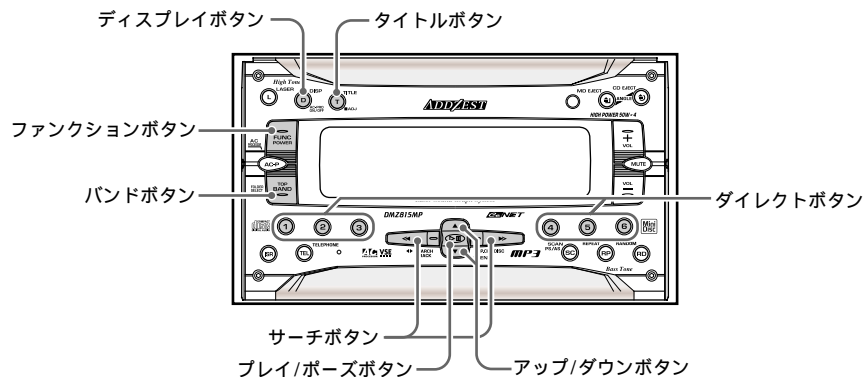
タイトルがメモリーされると、元のモードに戻ります。

- ・CD演奏中にメモリーしたCDのタイトルは、そのディスクをCDチェンジャーで演奏した場合、メモリーしたタイトルは表示することができません。ただし、CDチェンジャー演奏中にメモリーしたCDのタイトルは、そのディスクを本機で演奏した場合、メモリーしたタイトルを表示することができます。

タイトルメモリーがいっぱいになると...

- ・ラジオ局タイトルの場合
プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。
- ・ディスクタイトルの場合
演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

■ タイトルをつける



イージーインプットをする

イージーインプットについて...

本機は、チューナー(TV)エリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリセットチャンネルにメモリーされているタイトルを「USER TITLE」にコピーすることができます。(イージーインプット機能)

ご注意

イージーインプットをすると、すでにメモリーされているチューナー(TV)タイトルは全て消去されます。

- 1 ラジオモードまたはTVモードにして、タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)

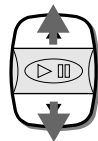


- 2 サーチボタンの ◀◀ または ▶▶ を押して、「TUNER AREA」を選ぶ



・TVモードのときは、「TV AREA」を選んでください。

- 3 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、コピーしたい受信エリアを選ぶ



- 4 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



・受信エリアについては、「チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)」(67ページ)「TVエリアを設定する(TV AREA)」(68ページ)をご覧ください。

- 5 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



タイトルを削除する

- 1 ファンクションボタンを押して、モードを選ぶ(ラジオ、TV、CDまたはCDチェンジャー)



- 2 削除したいタイトルのラジオ/TV局を受信するまたはCDを演奏する

- 3 ディスプレイボタンを押し続けて、ユーザータイトル表示にする(CDチェンジャーモードのみ)



- 4 タイトルボタンを押す



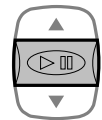
タイトル入力表示になります。

- 5 バンドボタンを押す



タイトルが消えます。

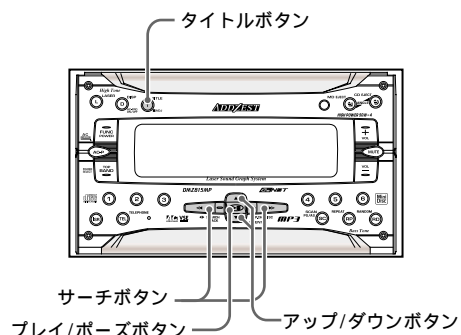
- 6 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



タイトルが削除されて次のように表示します。

- ・ラジオ/TVモードのとき:「NO-TITLE」
- ・CD/CDチェンジャーモードのとき:「NO-TITLE」

設定を変更する (アジャストモード)



設定項目を選ぶ

- 1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



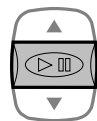
上部ディスプレイに「NON-FADER ▶ OFF」を表示して、アジャストモードになります。

- 2 サーチボタンの ◀◀ または ▶▶ を押して、設定する項目を選ぶ



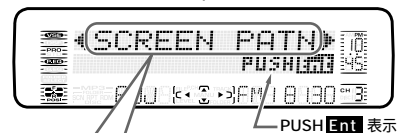
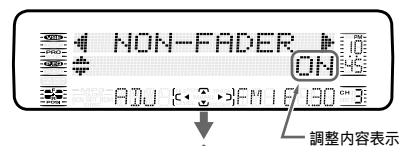
・サーチボタンの ◀◀ または ▶▶ を押すたびに、右図のように切り換わります。(接続していない機器の設定項目は表示されません。)

- 3 表示部末尾に「PUSH Ent」があるときは、プレイ/ポーズボタンを押して設定内容を表示させる



元のモードに戻すには...

タイトルボタンを押してください。



- ・ノンフェダー出力の設定
NON-FADER
- ・ノンフェダー出力の調整
NON-FAD VOL
ノンフェダー出力の設定がONのときに表示
- ・ACプロセッサの設定
AC-PROCESSR
47ページ参照
- ・レーザーサウンドグラフの感度を設定
LASER SENS
- ・レーザーサウンドグラフの速さを設定
LASER SPEED
- ・スクリーンセーバーの設定
SCREEN PATN
32ページ参照
- ・メッセージ表示の設定
MESSAGE
- ・ビープ音の設定
BEEP
- ・タイトルスクロール方法の設定
AUTO SCROLL
- ・チューナーエリアの設定
TUNER AREA
- ・TVダイバーシティの設定
TV DIVER
TV接続時に表示
- ・TVエリアの設定
TV AREA
TV接続時に表示
- ・電話の出力スピーカーを設定
TEL-SPEAKER
- ・時刻の設定(28ページ参照)
CLOCK ADJ
ナビゲーション接続時は表示されません。

ノンフェダー出力を設定する (NON-FADER)

ノンフェダー出力について...

RCAピンケーブルのリア/ノンフェダー出力の設定をノンフェダーに変更することができます。

・初期設定は、「OFF」です。このときのRCAピンケーブルのリア/ノンフェダー出力はリアに設定されています。

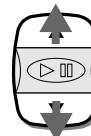
- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの ◀◀ または ▶▶ を押して、「NON-FADER」を選ぶ



- 3 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- ・ON :RCAピンケーブルリア/ノンフェダー出力を「ノンフェダー」に設定します。
- ・OFF:RCAピンケーブルリア/ノンフェダー出力を「リア」に設定します。

- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



ノンフェダー出力の音量を調整する(NON-FAD VOL)

ノンフェダー出力の調整について...

ノンフェダー出力の設定を「ON」にしないと、ノンフェダー出力音量は調整できません。

・初期設定は、「0」です。

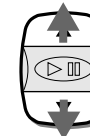
- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの ◀◀ または ▶▶ を押して、「NON-FAD VOL」を選ぶ



- 3 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、出力音量を調整する



・ノンフェダー出力の音量調整範囲は、- 5 ~ + 5です。

- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



■ 設定を変更する (アジャストモード)

レーザーサウンドグラフ表示の感度を設定する(LASER SENS)

レーザーサウンドグラフ表示の感度について...

レーザーサウンドグラフの感度は、パターン表示の感度です。3種類(HIGH,MID,LOW)の感度に切り換えることができます。

- ・初期設定は、「HIGH」です。
- ・表示感度を切り換えることによって、音量が変わることはありません。

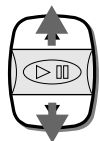
- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの << または >> を押して、「LASER SENS」を選ぶ



- 3 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、感度を選ぶ



感度は次のように切り換わります。

HIGH ↔ MID ↔ LOW

- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



レーザーサウンドグラフ表示の速さを設定する(LASER SPEED)

レーザーサウンドグラフ表示の速さについて...

レーザーサウンドグラフ表示の速さは、光の帯が左右に移動する反応の速さです。3種類(HIGH,MID,LOW)の速さに切り換えることができます。

- ・初期設定は、「HIGH」です。

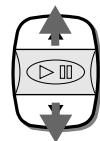
- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの << または >> を押して、「LASER SPEED」を選ぶ



- 3 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、表示の速さを設定する



速さは次のように切り換わります。

HIGH ↔ MID ↔ LOW

- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



メッセージを表示させる (MESSAGE)

メッセージ表示機能について...

電源ON/OFF時に、ディスプレイにメッセージを表示します。お好みに合わせて、これらのメッセージの表示をON/OFFすることができます。

- ・初期設定は、「ON」です。
- ・設定をONにすると、電源を入れたときに「welcome」to「ADDZEST」を、電源を切ったときに「good-bye!」を表示します。

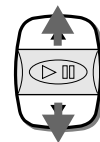
- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの << または >> を押して、「MESSAGE」を選ぶ



- 3 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



ボタン操作時のピープ音を設定する(BEEP)

ピープ音について...

操作時に 鳴る「ピッ」という音を、ピープ音といいます。この音が鳴らないように設定できます。

- ・初期設定は、「ON」です。
- ・「OFF」に設定しても、スロープコンソールが自動的に閉まるときは、事故防止のためピープ音が鳴ります。

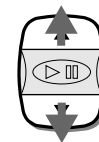
- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの << または >> を押して、「BEEP」を選ぶ



- 3 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



■ 設定を変更する (アジャストモード)

タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCROLL)

タイトルスクロールについて...

タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。

・初期設定は、「ON」です。

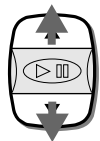
- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



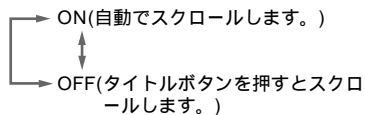
- 2 サーチボタンの << または >> を押して、「AUTO SCROLL」を選ぶ



- 3 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、スクロール方法を設定する



押すたびに、次のように表示が切り換わります。



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



TVダイバーシティを設定する(TV DIVER)

TVダイバーシティについて...

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時)

・初期設定は「ON」です。TVダイバーシティアンテナを使用していないときは「OFF」に設定してください。

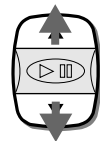
- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの << または >> を押して、「TV DIVER」を選ぶ



- 3 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)

チューナーエリアについて...

チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

・初期設定は、「コウイキ カントウ(広域 関東)」です。
・オリジナルの放送局名を表示する場合は、「USER TITLE(タイトル入力された放送局名)」にしてください。また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける」(58ページ)をご覧ください。

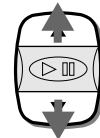
- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの << または >> を押して、「TUNER AREA」を選ぶ



- 3 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、チューナーエリアを選ぶ



ボタンを押すたびに、エリアが切り換わります。エリアは右上図の11種類から選ぶことができます。

チューナーエリア一覧表

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホク	東北
コウイキ カントウ	広域 関東
コウイキ トウカイ	広域 東海
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
チュウゴク	中国
シコク	四国
キウシュウ	九州
オキナワ	沖縄

- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



イージーインプット機能について...

チューナーエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを押し続ける(2秒間)と、選択したチューナーエリアの放送局名が「USER TITLE」メモリーへ登録されます。

■ 設定を変更する (アジャストモード)

TVエリアを設定する(TV AREA)

テレビエリアについて...

テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。(TVチューナー接続時)

- ・初期設定は、「カントウ」(関東)です。
- ・オリジナルの放送局名を表示する場合は、「USER TITLE」にしてください。

また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける」(58ページ)をご覧ください。

TVエリア一覧表

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホクA	東北A
センダイ	仙台
トウホクB	東北B
フクシマ	福島
シンエツ	信越
カントウ	関東
シズオカ	静岡
トウカイチュウブ	東海中部
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
サンイン	山陰
オカヤマ	岡山
サンヨウ	山陽
シコクA	四国A
シコクB	四国B
キュウシュウA	九州A
キュウシュウB	九州B
キュウシュウC	九州C
カゴシマ	鹿児島
オキナワ	沖縄

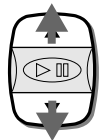
- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの << または >> を押して、「TV AREA」を選ぶ



- 3 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、TVエリアを選ぶ



ボタンを押すたびに、エリアが切り換わります。エリアは右上図の22種類から選ぶことができます。

- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



イーजीーインプット機能について...

テレビエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)と、選択したテレビエリアの放送局名が「USER TITLE」メモリーへ登録されます。

電話の割り込みを設定する(TEL SPEAKER)

電話の割り込み機能について...

本機と(別販)オーディオコントロール付TEL-LINKユニットまたは、(別販)ハンズフリーキットを接続することにより、電話の着信時に、車内のスピーカーから着信音および通話音声を聞くことができます。

さらに、本機では通話音声を出すスピーカーを左または右に切り換えることができます。

- ・初期設定は「LEFT」です。

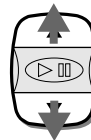
- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 サーチボタンの << または >> を押して、「TEL SPEAKER」を選ぶ



- 3 アップ/ダウンボタンの ▲ または ▼ を押して、「LEFT」または「RIGHT」を選ぶ



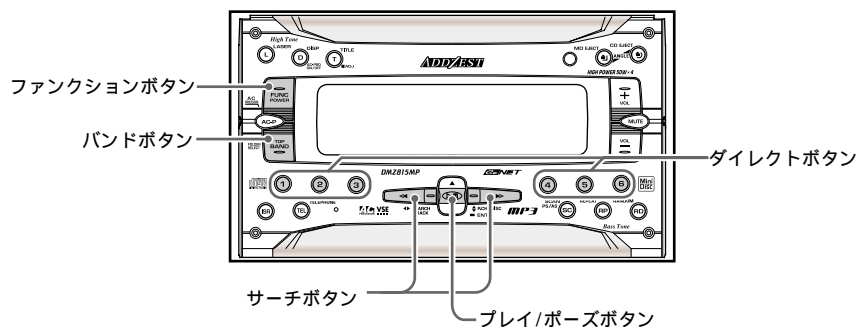
ご注意

ハウリングを防止するため、右ハンドル車の時は左スピーカー(LEFT)に、左ハンドル車の時には右スピーカー(RIGHT)に設定してください。

- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



CD/MDチェンジャーの操作



CDチェンジャーについて...

本機は、別販のCeNET結線対応のCDチェンジャーを接続してコントロールできます。CeNET結線対応のCDチェンジャーとMDチェンジャーを合わせて2台まで接続できます。

MDチェンジャーについて...

本機は、別販のCeNET接続対応のMDチェンジャーを接続してコントロールできます。

CD-ROMについて...

本機ではCD-ROMを操作できません。

ご注意

CD-Rで記録されたCDは使用できない場合があります。また、CD-RWで記録されたCDは使用できません。

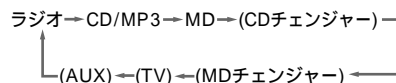
チェンジャーモードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押して、CD(またはMD)チェンジャーモードを選ぶ



CD(またはMD)チェンジャーモードになると、自動的に演奏がはじまります。

- ・ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)



2 台のCD(またはMD)チェンジャーを接続したときは...

ファンクションボタンを押して、演奏するCD(またはMD)チェンジャーを選択してください。(ファンクションボタンを押すたびに切り換わります。)

- ・CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「NO MAGAZINE」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「NO DISC」と表示されます。
- ・MDチェンジャーにMDが入っていないときは、「NO DISC」と表示されます。
- ・タイトル表示については、「タイトル表示を切り換える」(33ページ)をご覧ください。

聴きたいCD(またはMD)を選ぶ

1 ダイレクトボタンを押す

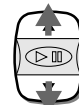
① ~ ⑥

次のディスクまたは、前のディスクを選ぶには...

バンドボタンを押す。または、アップ/ダウンボタンの▲または▼を押します。



または



ディスプレイにディスクNo.を表示して、演奏をはじめます。

- ・MDが入っていないとき、またはマガジンにCDが入っていないときは、ダイレクトボタンを押しても受け付けません。

- ・演奏中のディスクNo.と同じ番号のダイレクトボタンを押したときは、そのディスクの1曲目に戻って演奏します。

12枚CDチェンジャー接続時に、7~12のディスクを選ぶには...

ダイレクトボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチボタンの▶を押す

2 前の曲を聴くときは、サーチボタンの◀を2回押す



▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

◀を1回押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- ・曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

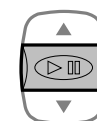
1 早送りするときは、サーチボタンの▶を押し続ける

2 早戻しするときは、サーチボタンの◀を押し続ける



演奏を止める(一時停止)

1 プレイ/ポーズボタンを押す



ディスプレイに「PAUS」を点滅表示します。

続けて演奏を聴きたいときには...

もう1度プレイ/ポーズボタンを押してください。

最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について...

ディスクの最初の曲(トラックNo.1)から演奏させる機能です。

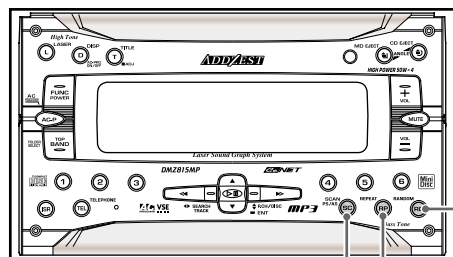
1 1~6のディスクを演奏しているときは、演奏しているCD(またはMD)と同じ番号のダイレクトボタンを押す

7~12のディスクを演奏しているときは、演奏しているCD(またはMD)と同じ番号のダイレクトボタンを押し続ける(約1秒間)

① ~ ⑥

- ・MDまたはマガジンにCDが入っていないディスクNo.のダイレクトボタンを押しても受け付けません。

CD/MDチェンジャーの操作



スキャンボタン リピートボタン ランダムボタン

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について...
チェンジャー内のCD(またはMD)の全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押す

ディスプレイに「SCN」が点灯、タイトル表示部に「TRACK SCAN」を約2秒間表示して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

スキャン演奏を解除するには...

もう1度スキャンボタンを押してください。
ディスプレイの「SCN」が消え、いま演奏している曲から演奏します。

聴きたいCD(またはMD)を探す(ディスクスキャン演奏)

ディスクスキャン演奏について...
チェンジャー内の全CD(またはMD)の最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)

ディスプレイに「DISC」と「SCN」が点灯、タイトル表示部に「DISC SCAN」を約2秒間表示して、ディスクスキャン演奏をします。

- ディスクスキャン演奏は、演奏しているCD(またはMD)の次のCD(またはMD)からはじまります。

ディスクスキャン演奏を解除するには...

もう1度スキャンボタンを押してください。
ディスプレイの「DISC」と「SCN」が消え、いま演奏しているCD(またはMD)から演奏します。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について...
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す

ディスプレイに「RPT」が点灯、タイトル表示部に「TRACK REPEAT」を約2秒間表示して、リピート演奏をします。

リピート演奏を解除するには...

もう1度リピートボタンを押してください。
ディスプレイの「RPT」が消え、通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について...
演奏中のCD(またはMD)の全曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す

ディスプレイに「RDM」が点灯、タイトル表示部に「TRACK RANDOM」を約2秒間表示して、ランダム演奏をします。

ランダム演奏を解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。
ディスプレイの「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

1枚のCD(またはMD)を繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)

ディスクリピート演奏について...
演奏中のCD(またはMD)を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)

ディスプレイに「DISC」と「RPT」が点灯、タイトル表示部に「DISC REPEAT」を約2秒間表示して、ディスクリピート演奏をします。

ディスクリピート演奏を解除するには...

もう1度リピートボタンを押してください。
ディスプレイの「DISC」と「RPT」が消え、通常の演奏になります。

全CD(またはMD)の演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)

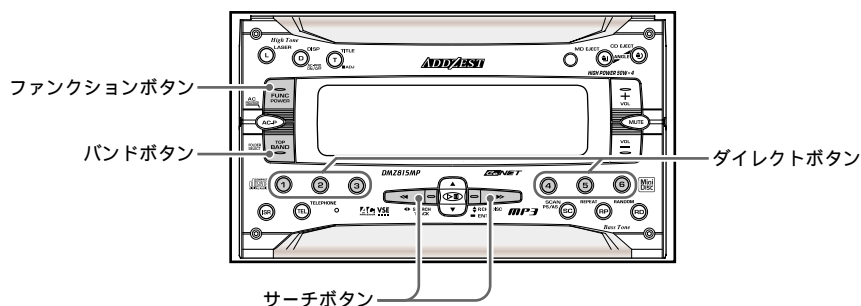
ディスクランダム演奏について...
チェンジャー内のCD(またはMD)の曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)

ディスプレイに「DISC」と「RDM」が点灯、タイトル表示部に「DISC RANDOM」を約2秒間表示して、ディスクランダム演奏をします。

ディスクランダム演奏を解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。
ディスプレイの「DISC」と「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。



TVチューナーコントロール機能について...

別販のCeNET結線対応のTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。
TVを見るためには、TVチューナーとモニターが必要です。

警告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

ご注意

ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。

- TVダイバーシティアンテナを使用しないときは、「TVダイバーシティを設定する(TV DIVER)」(66ページ)で、設定を「OFF」にしてください。

- 受信地域内の放送局名を表示させたいときは、「TVエリアを設定する(TV AREA)」(68ページ)で、受信エリアを設定してください。

TVモードを選ぶ

- 1 ファンクションボタンを押して、TVモードを選ぶ



ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオ→CD/MP3→MD→(CDチェンジャー)
→(AUX)→(TV)→(MDチェンジャー)→

受信バンドを切り換える

- 1 バンドボタンを押してTV1またはTV2を選ぶ



バンドボタンを押すたびに、バンドが切り換わります。

TV1→TV2

自動選局する(シーク選局)

- 1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

- 2 サーチボタンの◀または▶を押す



放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

- 1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

- 2 サーチボタンの◀または▶を押して、放送のあるところに合わせる



プリセット選局する

プリセット選局について

あらかじめメモリーしてあるチャンネルを選局する機能です。

- 1 ダイレクトボタンを押して、見たいチャンネルを選ぶ

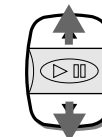
①～⑥

ディスプレイに放送局名とプリセットNo.を表示します。

・メモリーするときは、「プリセットメモリーする(次項)」をご覧ください。

プリセットメモリーを呼び出す

- 1 アップ/ダウンボタンの▲または▼を押す



ボタンを押すたびに、次のプリセットチャンネルを呼び出します。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて...

プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2各6局、合計で12局です。

- 1 サーチボタンの◀または▶を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

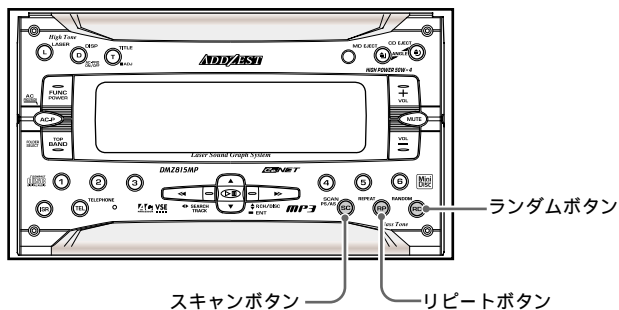


- 2 メモリーさせたいダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)

①～⑥

ディスプレイにプリセットNo.を表示し、メモリーされるとピープ音が「ピー」と鳴ります。

■ テレビを見る



自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について...

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 スキャンボタンを押し続ける(約2秒間)



ディスプレイに「AUTO STORE」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン(1~6)にメモリーされていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまでメモリーされていた放送局は消去されます。
- メモリーできる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、メモリーされなかったダイレクトボタンにはそれまでのメモリー内容が残ります。
- すでにメモリーされている放送局を、別のダイレクトボタンにメモリーすることはありません。

放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて...

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 スキャンボタンを押す



ディスプレイに「PRESET SCAN」を約2秒間表示し、プリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局とはばして、次の放送局を受信します。

ご注意

- スキャンボタンを押し続けると、(約2秒間)オートストア機能になります。ご注意ください。

プリセットスキャンを解除するには...

もう1度、スキャンボタンを押してください。

ボタンを押していたときに受信していた放送局を受信します。

ステレオ/モノラル音声を切り換える

1 リピートボタンを押す



押すたびに、ステレオ音声(STEREO)とモノラル音声(MONO)を切り換えます。

主音声/副音声を切り換える

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



押すたびに、主音声(MAIN)と副音声(SUB)を切り換えます。

ビデオを見る

1 TVモード時にランダムボタンを押す

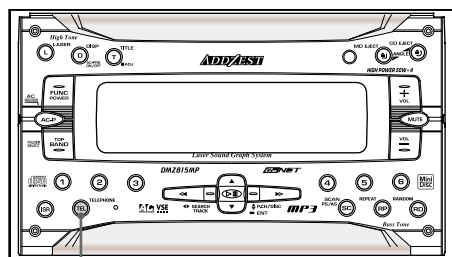


TVモードからVTRモードに切り換わります。TV画面がビデオ入力状態となり、ビデオを見ることができます。

TVモードに戻すには...

もう1度ランダムボタンを押してください。

ハンズフリー通話をする(簡易TEL機能)



TELボタン

簡易TEL機能について...

別販のハンズフリーキット(RCB-154-500)を使用して携帯電話を本機に接続することにより、着信/通話/終話/特定メモリー発信等が行え、ハンズフリー通話を実現します。



警告

- ・運転中の電話は大変危険です。電話をかけるとき、または受けるときには車を安全な場所に停車させてから操作してください。
- ・携帯電話を放置しないでください。停車したときやカーブを曲がるときに、携帯電話が足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。

ご使用前のご確認事項

1. 本機にTEL-LINKユニットを接続している場合には、TEL-LINKユニットが優先され、簡易TEL機能は使用できません。
2. 本機+(ナビ+コミュニケーションユニットCMC9600)の組み合わせから、コミュニケーションユニットを取り外した場合は、ACCをオンにしてから3~5分後に、システムチェックを行なう事で本機の簡易TEL機能を認識します。
3. 携帯電話によっては、イヤホン端子に本機のイヤホンプラグを差し込むと、携帯電話の着信音が鳴らなくなる機種があります。このような携帯電話は本機の簡易TEL機能を使用できません。

4. 携帯電話によっては、着信時にノイズがでる場合があります。
5. 電波状況、回線状況、携帯電話の取付位置などで、通話中にノイズがでる場合があります。このような場合は、携帯電話の取付位置をかえてみてください。
6. 携帯電話側のイヤホン端子が4極の場合と3極の場合があります。その極数の違いにより機能および操作方法が多少異なります。

以下の説明では次のアイコンを表示して説明します。

4極：4極イヤホン端子を持つ携帯電話

3極：3極イヤホン端子を持つ携帯電話

7. 3極イヤホン端子を持つ携帯電話の場合、携帯電話の特定メモリーによるダイヤル発信はできません。
8. 4極イヤホン端子を持つ携帯電話における簡易TELモードへの切替時間は、ご使用の携帯電話によって異なります。
9. この機能による通話は、相手と同時に話すことができません。(シンプレックスモード)
10. 通話相手の音声は「電話の割り込みを設定する(TEL SPEAKER)」(69ページ)で設定したスピーカーから聞こえます。

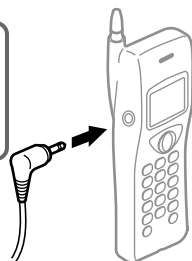
携帯電話の接続のしかた

本機に接続された携帯電話接続用コードに、接続する携帯電話のイヤホン端子形状を確認して以下のように接続します。

4極イヤホン端子のとき

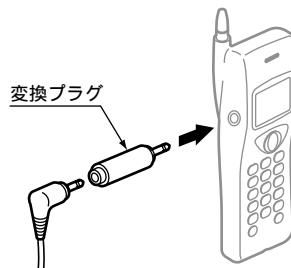
携帯電話のイヤホン端子に直接接続します。

3極・4極の見分け方
4極イヤホン端子は端子のまわりに金属が使われています。
3極イヤホン端子は金属がありません



3極イヤホン端子のとき

携帯電話のイヤホン端子に変換プラグ(別販・ハンズフリーキットに付属)を介して接続します。



注意

携帯電話接続用コードは、シフトレバー等からまらないように配線してください。

着信電話を受ける

- 4極** 着信したときに、本機のTELボタンを押し続け、携帯電話から発信音(ビピッ)が鳴ったら指を離す。



タイトル表示部に「TELEPHONE」を表示して、簡易TELモードに切り換え、ハンズフリー通話が行えます。

- 3極** 着信したときに、携帯電話の着信ボタンを押す

携帯電話は着信状態となります。

- ・携帯電話側で自動着信の設定がしてある場合は、この操作を省略できます。

- 2** 本機のTELボタンを押す



タイトル表示部に「TELEPHONE」を表示して、簡易TELモードに切り換え、ハンズフリー通話が行えます。

通話を終了する

- 4極** 本機のTELボタンを押し続け、携帯電話から発信音(ビピッ)が鳴ったら指を離す。



元のモードに戻ります。

通話相手側が切った場合には

数秒経過すると携帯電話は自動的に切れます。TELボタンを押して元のモードに戻してください。

- 3極** 1 携帯電話の終話ボタンを押す
通話を終了します。

- 2** 本機のTELボタンを押す



元のモードに戻ります。

通話相手側が切った場合には

数秒経過すると携帯電話は自動的に切れます。TELボタンを押して元のモードに戻してください。

発信する

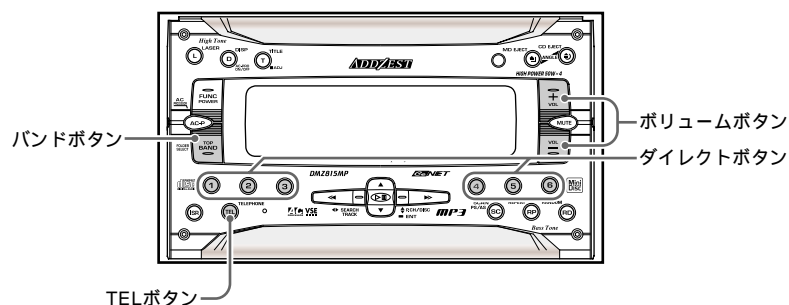
この機能は携帯電話の特定メモリーに登録されている相手先にダイヤルすることができます。

- 4極** 通話していないときに、本機のTELボタンを押し続け、携帯電話から発信音(ビピッ)が鳴ったら指を離す。



- ・特定メモリーの機能は携帯電話の種類によって異なります。
- ・3極イヤホン端子を持つ携帯電話の場合、携帯電話の特定メモリーによるダイヤル発信はできません。

携帯電話機を操作する



電話モード時のディスプレイ表示

SPEED DIAL : スピードダイヤル検索中のとき
 TTS SEARCH : 電話番号を検索中のとき
 REDIAL : リダイヤル検索のとき
 Dialing... : ダイアル中の表示
 ----- : 状態がわからないときの表示

CL-DESIGN : スピードダイヤル検索時等の名前表示
 033XXX1234 : 発信/着信時の電話番号表示



電話をかける (スーパースピードダイヤル)

本機は、別販のオーディオコントロール付 TEL-LINK ユニットを接続することにより、携帯電話機による通話をコントロールすることができます。



警告

- ・運転中の電話は大変危険です。電話をかけるとき、または受けるときには車を安全な場所に停車させてから操作してください。
- ・携帯電話を放置しないでください。停車したときやカーブを曲がるときに、携帯電話が足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。

ご注意

- ・TEL-LINKユニットでは、本機のCD/MP3モードの操作はできません。
- ・TEL-LINKユニットに接続可能な、デジタル携帯電話については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または弊社お客様相談室にお問い合わせください。
- ・通話音声を出すスピーカーは、助手席側のスピーカーを指定してください。設定を間違えるとハンズフリー通話のときにハウリングを起こします。スピーカーの設定のしかたは、「電話の割込を設定する」(69ページ)をご覧ください。

1 TELボタンを押す



ディスプレイのタイトル表示部に「SPEED DIAL」を表示して、電話モードに切り換わります。

2 ダイレクトボタンを押す



携帯電話機のメモリーダイヤルを呼び出して、登録内容を音声で案内します。また、呼び出したメモリーダイヤルをディスプレイに表示して、自動で発信します。

- ・ファンクションボタンを押すと、即座にダイヤル発信します。
- ・本機にメモリーされたメモリーダイヤル番号は変更できません。変更するときは、携帯電話側で変更してください。

3 TELボタンを押して、元のモードに戻る



通話を終了するには...

バンドボタンを押してください。



通話音量を調整する

1 TELボタンを押して、電話モードにする



2 ボリュームボタンの+または-を押して、通話音量を調整する



- ・通話時にボリュームボタンの+または-を押して、調整することもできます。
- ・調整した通話音量はメモリーされます。
- ・電話モード時の通話音量は、オーディオ時の音量設定と異なります。

携帯用オーディオを聴く(アクセサリモード)

アクセサリモードにする

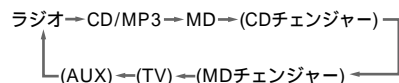
アクセサリモードについて...

別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)を接続して、市販のヘッドホンステレオなどの音楽ソースを聴くことができます。

1 ファンクションボタンを押す



押すたびに、次のように切り換わります。アクセサリモードになると、接続された携帯用オーディオのプレイ操作で、音が再生されます。

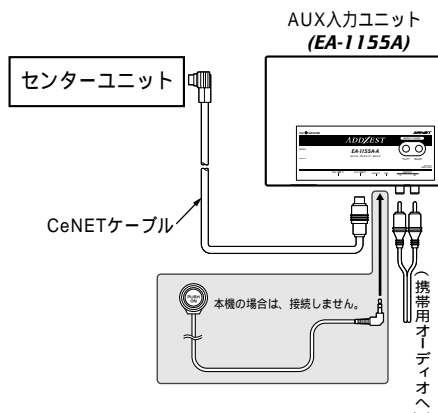


元のモードに戻すには...

ファンクションボタンを押してください。

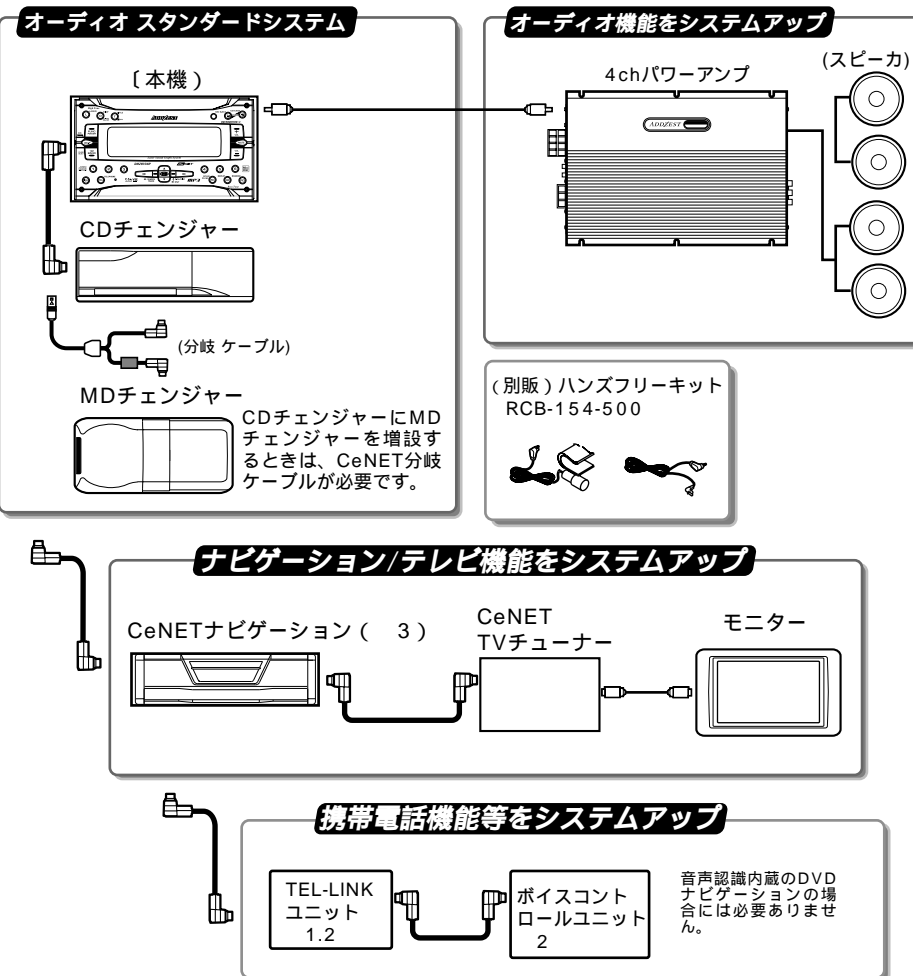
AUX入力ユニット接続のしかた

本機の場合には、AUX入力ユニットに付属のリードスイッチを接続する必要はありません。



システムアップについて

本機は**CeNET**マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。



- 1.TEL-LINKユニットに接続可能なデジタル携帯電話機については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または、弊社お客様相談室にお問い合わせください。
- 2.TEL-LINKユニット及びボイスコントロールユニットではCD/MP3モードの操作はできません。
- 3.本機 + (ナビ+コミュニケーションユニットCMC9600)の組合わせから、コミュニケーションユニットを取り外した場合、ACCをオンしてから3~5分後に、システムチェックを行なう事で本機の簡易TEL機能を認識します。

- 4.システムアップおよびそれに必要なCeNETケーブル等については販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。

: CeNETケーブル (4)

: RCAピンケーブル
または専用の接続ケーブル

■ システムアップについて

CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

CeNET 接続ケーブル長一覧表

CeNETケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET CDチェンジャー	5m <オス オス>
CeNET MDチェンジャー	5m <オス オス>
オーディオコントロール付TEL-LINKユニット	2.5m <オス オス>
RVH4500z (ボイスコントロールユニット)	2.5m <オス オス>
CeNET ナビゲーションシステム	5m <オス オス>
CeNET TVチューナー	5m <オス オス>

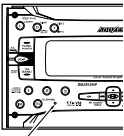
別販CeNETケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET分岐ケーブル)	1m <オス×2 メス>
CCA-520 (CeNET延長ケーブル)	2.5m <オス メス>
CCA-521 (CeNET延長ケーブル)	0.6m <オス メス>

<> 内は、コネクタの形状を表しています。

■ 故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

	現 象	原 因	処 置
共通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

	現 象	原 因	処 置
共通	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで押してください。  リセットボタン リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
CD/MP3	音がでない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
		ディスクにMP3ファイルがない	ディスクにMP3ファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3ファイルではない	正しくエンコードされたMP3ファイルをご使用ください。
		ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1または2でファイルを作成してください。
	音飛びする ノイズが入る	ディスクが汚れている	ディスクを柔らかい布でふいてください。
		MP3ファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3ファイルをご使用ください。
MD	電源を入れた直後音質が悪い	ディスクに大きい傷やソリがある 湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	ディスクを無傷なものに交換してください。 電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
	ファイル名が違う	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1または2でファイルを作成してください。
	MDを入れても音が出ない、またはMDがすぐ出してしまう	MDを間違った向きに入れている	MDの印刷面を上にして、シャッター板を右側にして入れてください。
MD	MDが入らない	本機の中にMDが入っている	イジェクトボタンを押してMDを取り出してから、MDを入れてください。
	MDがイジェクトできない	極端な電源変動などによる誤動作または機構の誤動作	リセットボタンを細い棒などで押してください。
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

その他

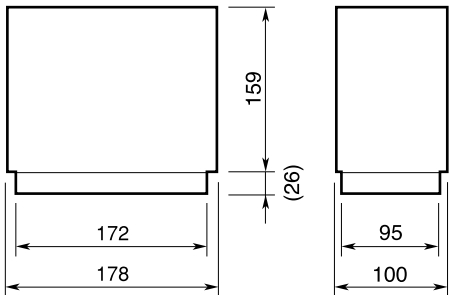


エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
CD/MP3モード	ERROR2	CDデッキ内のディスクが引っかかって、イジェクトされないときの表示	CDデッキメカニズムの故障とされます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	CDデッキ内のディスクに傷などがあり、演奏できないときに表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDデッキ内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないときに表示し、ディスクをイジェクトします。	ディスクを正しく入れ直してください。
MDモード		ブランクディスク(無録音)を入れた時に表示し、ディスクをイジェクトします。	録音されているディスクと交換してください。
	ERROR2	MDデッキのメカが故障しているときの表示	MDデッキのメカニズムの故障とされます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	MDデッキ内のMDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないIMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れたときに表示し、MDをイジェクトします	録音されたMDと交換してください。
CDチェンジャー	ERROR H	MDデッキの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDデッキの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください
	ERROR2	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障とされますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDチェンジャー内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。
MDチェンジャー		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているCDと交換してください。
	ERROR H	CDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	CDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。
	ERROR2	MDチェンジャーのメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないIMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れたときの表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。
それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕様

MDプレーヤー部		オーディオ部	
周波数特性	: 20Hz ~ 20kHz ± 2dB	定格出力	: 18W × 4 (20Hz ~ 20kHz、1%、4)
SN比	: 100dB	最大出力	: 50W × 4 (JEITA)
ダイナミックレンジ	: 92dB	適合スピーカーインピーダンス	: 4 (4 ~ 8)
高調波ひずみ率	: 0.015%	ラインアウト出力レベル (CD1kHz)	: 4V
CDプレーヤー部		共通部	
周波数特性	: 5Hz ~ 20kHz ± 1dB	電源電圧	: DC14.4V
SN比	: 100dB	接地方式	: マイナス接地
ダイナミックレンジ	: 92dB	消費電流	: 3.0A (1W時)
高調波ひずみ率	: 0.015%	ヒューズ定格	: 15A
MP3部		外形寸法	: 178(W) × 100(H) × 185(D)mm [取付寸法: 159(D)mm]
MP3デコード		質 量	: 3.1kg
: MPEG-1, オーディオレイヤー3準拠			
サンプリングレート			
: MPEG-1; 44.1kHz, 48kHz			
ビットレート			
: MPEG-1 Fs: 44.1kHz 32k ~ 320kbps, VBR Fs: 48kHz 32k ~ 256kbps, VBR			
セクタ構造			
: CD-ROM モード1, モード2-フォーム1 (自動判別)			
ISO9660			
: レベル1, レベル2			
フォルダー構造			
: 8階層			
フォルダー/ファイル数			
: 合わせて最大255 (但し、フォルダー数の上限は、150以内)			
フォルダー/ファイル名表示文字			
: 最大16文字 (フォルダー16文字、ファイル16文字)			
FMチューナー部		付属品	
受信周波数	: 76.0MHz ~ 90.0MHz	• 取扱説明書 1部	
実用感度	: 9dBf	• 取付説明書 1部	
50dBクワイティング感度	: 15dBf	• 修理相談窓口リスト 1部	
SN比	: 70dB	• 保証書 1部	
周波数特性	: 30Hz ~ 15kHz ± 3dB	• 電源コード 1本	
分離度	: 35dB (1kHz)	• サラネジ (M5 × 8)  8本	
高調波ひずみ率 (ステレオ)	: 0.3% (1kHz)	• セムス六角ボルト  8本	
AMチューナー部		これらの仕様およびデザインは、改善のため予告なく変更する場合があります。	
受信周波数	: 522kHz ~ 1,629kHz		
実用感度	: 28dB μ		
SN比	: 50dB		
DSP・EQ部		<div>ドルビーラボラトリー・ライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品</div>	
A/D変換	: 20bit		
64倍オーバーサンプリング			
D/A変換	: 24bit		
128倍オーバーサンプリング			
アドバンストマルチビット			
STD...D.S.F	: BASIC 5モード		
G.EQ (7バンド)	: BASIC 6モード/USER 6モード		
PRO...V.S.E	: BASIC 6モード/USER 6モード		
P.EQ	: BASIC 6モード/USER 6モード		

その他

アフターサービスについて

保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

保証期間

お買い求めの日より1年間です。

万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

クラリオン株式会社

本 社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
TEL. 0120-112-140 (フリーダイヤル)
お問い合わせは、お客様相談室へ

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

お客様へ…… ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。